

HERUTU

生産工程支援ソフトウェア for WCL シリーズ

The logo for WCL plus, featuring a green square icon to the left of the text "WCL plus". The "WCL" is in a bold, black, sans-serif font, and "plus" is in a smaller, black, sans-serif font with a green underline.

取扱説明書 V2.20

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
必要な時にすぐにお読みいただけるように大切に保管してください。



ご使用前に

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は保存し、必要な時にお読みください。

この製品は著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この製品の全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害となりますのでご注意ください。

また、必ず本書の”「WCL plus」に関する使用許諾契約書”をお読みください。

「WCL plus」に関する使用許諾契約書

重要: 本ソフトウェア(以下に定義)をご使用になる前に、本使用許諾契約の条項をよくお読みください。ヘルツ電子株式会社は、本使用許諾契約の条項に同意した場合のみ、個人、企業、または法人(以下「お客様」)に対して本ソフトウェアの使用を許諾します。この使用許諾契約は、お客様とヘルツ電子株式会社との間を法的に拘束する契約です。[同意します]または[はい]ボタンをクリックするかその他の方法で電子的に同意を示すこと、または本ソフトウェアをロードすることにより、お客様は本使用許諾契約の条項に同意したものとみなされます。お客様がこれらの条項に同意されないときは、[キャンセル]、[いいえ]またはウィンドウを閉じるボタンをクリックするかその他の方法で不同意を表明し、本ソフトウェアをそれ以上使用しないでください。

第1条 (使用許諾)

本使用許諾契約の対象となるソフトウェア(付属する機能を含む)および資料(すべての製品パッケージを含む)(「本資料」)(以下、合わせて「本ソフトウェア」)は、ヘルツ電子株式会社の知的所有物であり、著作権法によって保護されています。本ソフトウェアの所有権・知的財産権は引き続きヘルツ電子株式会社に帰属しますが、本使用許諾契約に同意したお客様には、本ソフトウェアを使用する特定の権利が付与されます。

本使用許諾契約は、ヘルツ電子株式会社がお客様に提供する本ソフトウェアのすべてのリリース、修正、アップデートおよび改良にも適用されます。本ソフトウェアの使用に関するお客様の権利および義務は以下のとおりとします。

- a. 1 台のコンピュータで本ソフトウェアのコピーを 1 つ使用すること。
- b. 本ソフトウェアを以下の禁止事項に違反して使用してはならないこと。
 - (i). 本ソフトウェアのいずれかの部分を、複製、再使用許諾、貸与、リース、転売、または頒布すること。
 - (ii). 本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、改変、翻案、その他本ソフトウェアのソースコードの解明を試みること、または、本ソフトウェアの二次的著作物を作成すること。
 - (iii). 本使用許諾契約が認めていない方法により本ソフトウェアを使用すること。

第2条 (ソフトウェア機能アップデート)

ヘルツ電子株式会社が独自の判断で新機能を本ソフトウェアで使用できるようにした時点で、お客様はその機能を利用できる権利があるものとします。ヘルツ電子株式会社は、継続的に製品の有用性、パフォーマンス、サービスの向上に努力するものであ

り、本ソフトウェアの最適化を図るため、ヘルツ電子株式会社、独自の判断でお客様への通知なくいつでも本ソフトウェアの機能の追加、修正、削除を行うことができるものとします。

第3条 （保証）

ヘルツ電子株式会社は、本ソフトウェアに関し、明示または黙示を問わず、瑕疵がないこと、特定の目的に適合しないこと、本ソフトウェアの使用が第三者の権利を侵害していないこと、その他いかなる保証をしません。

第4条 （責任の制限）

ヘルツ電子株式会社は、お客様に対し、特別、間接的、付随的または類似の損害（本ソフトウェアの使用または使用不能によって生じる逸失利益、データ損失を含みますが、これらに限定されません）について、ヘルツ電子株式会社が当該損害の可能性を通知されていたとしても、一切の責任を負いません。

ヘルツ電子株式会社の側のみに起因する故意または重大な過失により生じた損害を除き、いかなる場合でもヘルツ電子株式会社の賠償責任が、支払った代金を超えることはありません。上記の責任限定および免責規定は、お客様が本ソフトウェアを返品するか否かにかかわらず適用されます。

第5条 （準拠法）

本使用許諾契約は、日本の法律に準拠するものとします。万一、本使用許諾契約に関連してお客様とヘルツ電子株式会社との間で紛争が生じた場合は、静岡地方裁判所を専属的合意管轄裁判所とします。

第6条 （その他）

本使用許諾契約は、本ソフトウェアに関するお客様とヘルツ電子株式会社との間の完全な合意であり、(i) 以前の口頭または書面による本使用許諾に関するすべての通知、提示および表明に優先し、かつ、(ii) 当事者間の見積もり、申し込み、承諾または類似の通知における条項の抵触または追加に優先するものとします。上記にかかわらず、本使用許諾契約の条項は、契約によって放棄できないお客様の法域に存在する消費者保護法、またはその他の適用法のいかなる権利も狭めるものではありません。本使用許諾契約は、お客様がいずれかの条項に違反したときに終了します。その場合、お客様は、本ソフトウェアおよび本資料のすべてのコピーの使用を中止し、これらを廃棄しなければなりません。保証および損害賠償の免責ならびに責任制限は、契約終了後も存続します。本使用許諾契約は、本資料またはお客様とヘルツ電子株式会社が署名した書面によってのみ修正することができます。本使用許諾契約に関するご質問、またはヘルツ電子株式会社へのお問い合わせについては、ヘルツ電子株式会社のホームページ <https://www.herutu.co.jp/> をご参照ください。

目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. はじめに..... | 1 |
| 1-1. 概要..... | 1 |
| 1-2. 必要なシステム構成..... | 1 |
| 2. 対応する機器と設置方法..... | 2 |
| 2-1. 対応する機器..... | 2 |
| 2-2. 送信機と呼び出し..... | 3 |
| 2-3. 接点入出力(I/Oユニット連携)..... | 4 |
| 2-4. 双方向シルウオッチ連携..... | 5 |
| 2-5. ネットワーク設定..... | 6 |
| 2-6. 機器構成..... | 6 |
| 3. WCL plus..... | 7 |
| 3-1. アプリケーションの形態..... | 7 |
| 3-2. WCL plusご利用手順..... | 9 |
| 3-3. インストール..... | 10 |
| 3-4. 管理画面へのアクセス..... | 11 |
| 3-5. 画面構成..... | 12 |
| 3-6. 全般情報画面..... | 13 |
| 3-7. 基本設定画面..... | 14 |
| 3-8. 受信機一覧画面..... | 15 |
| 3-9. 受信機の新規登録..... | 16 |
| 3-10. 受信機情報の編集..... | 17 |
| 3-11. 受信機情報の複写..... | 17 |
| 3-12. 受信機の削除..... | 18 |
| 3-13. 送信機一覧画面..... | 19 |
| 3-14. 送信機の絞り込み..... | 21 |
| 3-15. 送信機の新規登録..... | 22 |
| 3-16. 送信機情報の編集..... | 24 |
| 3-17. 送信機情報の複写..... | 25 |
| 3-18. 送信機の削除..... | 26 |
| 3-19. I/Oユニット一覧画面..... | 27 |
| 3-20. I/Oユニットの新規登録..... | 28 |
| 3-21. I/Oユニット情報の編集..... | 29 |
| 3-22. I/Oユニット情報の複写..... | 29 |
| 3-23. I/Oポートの状態の確認..... | 30 |
| 3-24. I/Oユニットの条件表示..... | 31 |

| | |
|-------------------------------|----|
| 3-25. I/Oユニットの条件新規追加・編集 | 32 |
| 3-26. I/Oユニットの条件削除..... | 34 |
| 3-27. I/Oユニットの削除..... | 34 |
| 3-28. 呼び出しグループ一覧画面 | 35 |
| 3-29. 呼び出しグループ設定..... | 36 |
| 3-30. 呼び出し状況確認画面..... | 39 |
| 3-31. 製品情報画面..... | 40 |
| 3-32. 履歴データ..... | 41 |
| 3-33. 設定ファイルのバックアップ..... | 45 |
| 3-34. トラブルシューティング | 45 |

1. はじめに

1-1. 概要

「生産工程支援ソフトウェア for WCL シリーズ WCL plus」は、LAN 接続タイプ アンドン用受信機 WCL-426R または WCL-920R(*1)(以降、受信機)と組み合わせてご利用いただける Windows 対応アプリケーションです。

受信機は生産ラインの作業場所や機械に設置された送信機 AN426T II / AN920T(*2)から送信されるトラブル発生連絡をワイヤレスでリアルタイム受信し、LAN 経由で外部出力が可能です。

WCL plus と受信機を組み合わせることで、最大 10 台の受信機が受信したトラブル発生履歴を CSV 形式での保存や、Web ブラウザでの呼び出し状況の確認等(*3)が可能となります。

さらに、WCL plus と双方向シルウォッチ(*4)や I/O ユニットと組み合わせることで、設備からの異常信号を受け取り、接点出力で別の設備に伝えたり、双方向シルウォッチにより離れた作業者に異常を伝えることが可能となります。

(*1) WCL-426R は日本及びタイ市場で、WCL-920R は北米市場(アメリカ、カナダ)でご利用いただける商品です。

各製品の詳細については「WCL-426R 取扱説明書」または「WCL-920R 取扱説明書」をご覧ください。

(*2) 送信機には、作業者がトラブル発生を連絡するための「押しボタン 4 点(オレンジ、赤、緑、白)」と、機械がトラブル発生を連絡するための「外部入力 4 点(オレンジ、赤、緑、白)」の 2 種類の入力方法があり、いずれかを選択可能です。各色は、生産ラインで発生しうるトラブルに合わせて、「赤:異常発生」「オレンジ:生産部品切れ発生」「緑:生産完成品運搬の依頼」「白:トラブル解消」といった意味を持たせて運用していただくことができます。

(*3) WCL-920R を使用する場合は、CH を 1~10 の範囲内で設定する必要があります。CH を 11~16 に設定した場合は、Web ブラウザでの呼び出し状況の確認が行えません。履歴データについては、CH 設定に関係なく保存されます。

(*4) 双方向シルウォッチは、株式会社東京信友製品です。

1-2. 必要なシステム構成

本アプリケーションをご利用になるためには下記システム構成が必要となります。

| | |
|----------------|--|
| 対応 OS | Windows® 10 32-bit / 64-bit Windows® 11 64-bit(*) |
| CPU | Intel® Core™ 1.5GHz 以上(*) |
| メモリ | 2GB 以上(*) |
| 解像度 | 1366 × 768(FWXGA)以上 |
| ストレージ空き容量 | 1GB (データ / ログ を除く) 以上 |
| ネットワークアダプター | 100Mbps 以上 (一つ以上のネットワークアダプターが使用可能) |
| USB ポート | 1 ポート(双方向シルウォッチ送受信器を接続する場合のみ) |
| .NET Framework | 4.6 以降がインストール済み |
| Web ブラウザ | Google Chrome(Chromium ベースの Web ブラウザ) |

* Windows11 の場合は追加で Windows11 の最小システム要件が適用されます。

2. 対応する機器と設置方法

2-1. 対応する機器

本アプリケーションは下記型式の装置と組み合わせて使用できます。

アンドン用送信機

アンドン用送信機 AN426TII、AN920T

押しボタン 4 点、外部入力 4 点を持つワイヤレス呼び出し装置の送信機です。



AN426TII



AN920T

アンドン用受信機

LAN 接続タイプ アンドン用受信機 WCL-426R、WCL-920R

無線アンドンシリーズ AN426II、AN920 の表示機能のない受信機です。送信機からの呼び出しを受信し、LAN 経由で外部出力します。



WCL-426R



WCL-920R

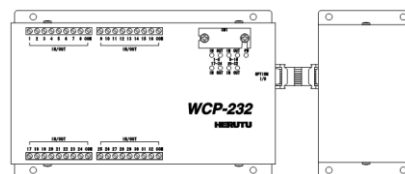
I/O ユニット

WCP-232-EXL

32 点の接点(入力 16 点、出力 16 点)を持つ LAN 接続タイプの I/O ユニットです。

WCL plus に接続して使用する場合は以下の仕様で動作します。

- ・入力: 1-8, 17-24 / 出力: 9-16, 25-32 (入力信号は 500ms 以上必要)
- ・A 接点



WCP-232-EXL

Silwatch (株式会社東京信友製品)

【Silwatch】 双方向シルウォッチ 腕時計型送受信器 SWSR-2130

送受信器からの信号を受信し、漢字 10 文字までのメッセージや音・光・バイブでお知らせします。

【Silwatch】 双方向シルウォッチ 送受信器 SWSR-P125

双方向シルウォッチ送受信器です。



SWSR-P125



SWSR-2130

- * 双方向シルウォッチ呼び出しは、言語設定を日本語にした場合に使用可能です。英語に設定した場合は、基本設定画面に双方向シルウォッチ呼び出し機能は表示されません。

詳しくは各製品の取扱説明書をご覧ください。

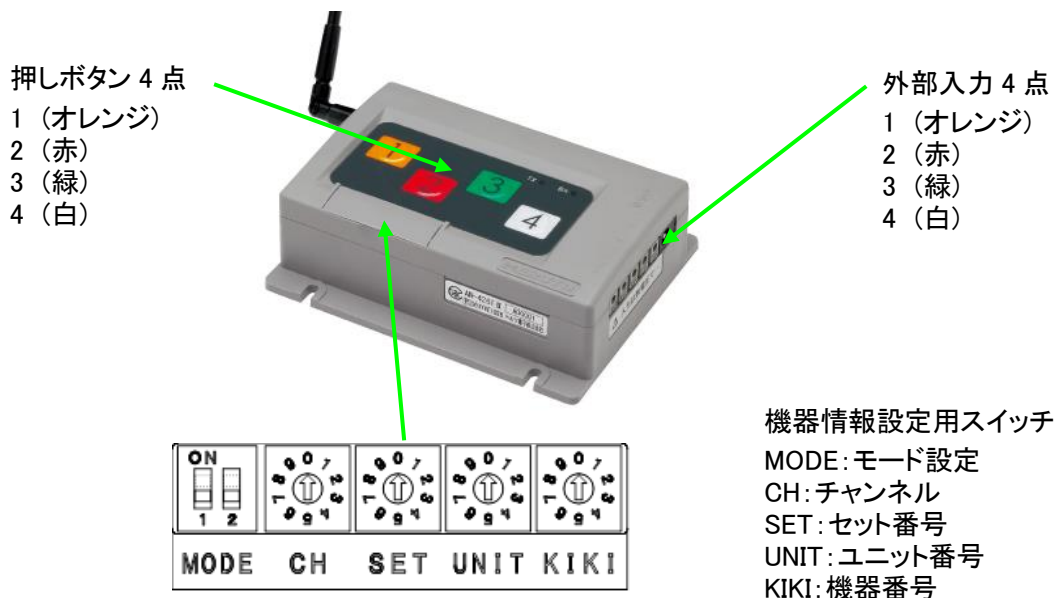
2-2. 送信機と呼び出し

送信機には押しボタン 4 点、外部入力 4 点、機器情報設定用スイッチがあります。

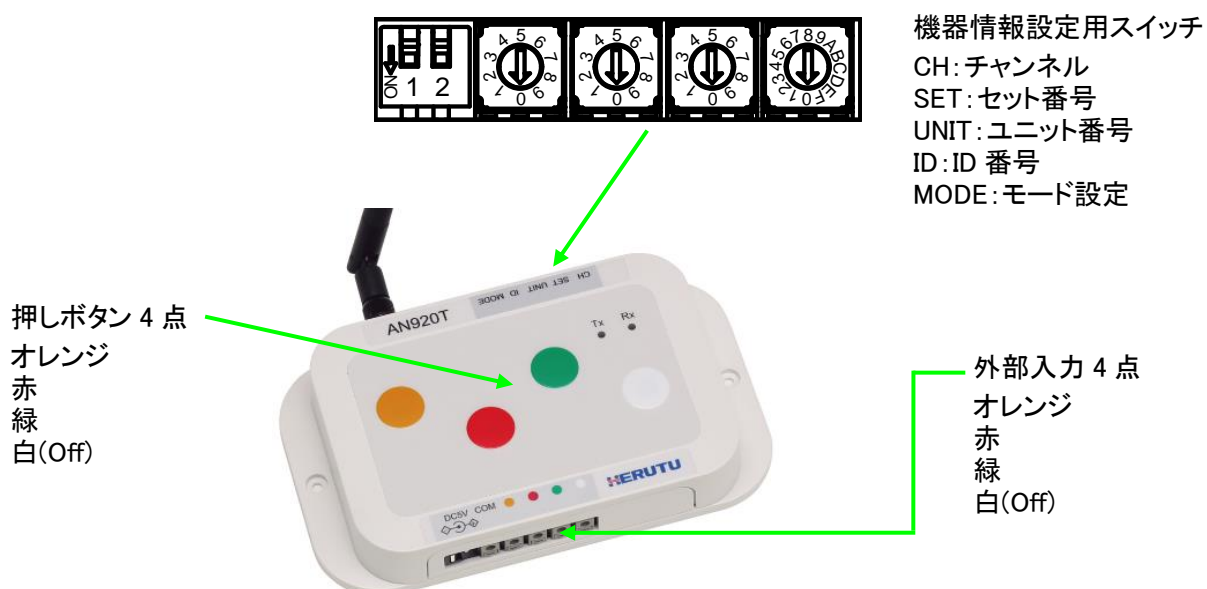
各色は、生産ラインで発生するトラブルに合わせて、「赤:異常発生」「オレンジ:生産部品切れ発生」「緑:生産完成品運搬の依頼」といった意味を持たせて運用していただくことができます。白はトラブル解消時にご利用ください。

詳しくは「AN426T II 取扱説明書」または「AN920 取扱説明書」をご覧ください。

●AN426T II



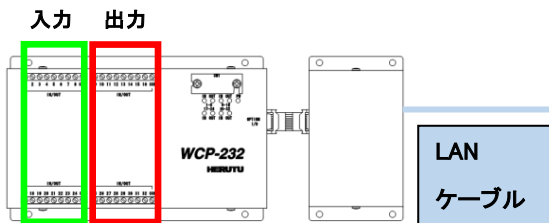
●AN920T



2-3. 接点入出力(I/O ユニット連携)

WCL plus に I/O ユニットの登録し設定を行うことで、以下のような動作が可能です。

- ・I/O ユニットの入力によって双方向シルウォッチ腕時計型送受信器に対してメッセージを送信
- ・I/O ユニットの入力によって、入力のあった I/O ユニット、または、別の I/O ユニットの出力ポートの操作 PLC や設備からの入力を受けて、出力ポートから別の PLC や設備に異常等の通知や、双方向シルウォッチ腕時計型受信機にメッセージを送信し、遠く離れた作業者に状況を通知することができます。



接続インターフェース: Ethernet(RJ45)

通信プロトコル: TCP

I/O ポート状態確認・設定周期: 約 100ms

入力 16 点(上段 8 点 + 下段 8 点)

出力 16 点(上段 8 点 + 下段 8 点)

接触形式: A 接点

必要な入力時間: 500ms 以上

■I/O ユニット制御の基本仕様

- 接続と切断

WCL plus が起動している限り、登録されている全ての I/O ユニットに対して接続を試みます。

これは接続できるまで周期的に行われ、接続が切断された場合も同様に動作します。

WCL plus のサービスを終了、または、I/O ユニットの登録を削除した場合は、自動的に接続を切断します。

- I/O ポートの状態をトリガとするイベントの発生タイミング

I/O ユニットと WCL plus は TCP で接続され、ソフトウェアにより制御される為、ms 単位、またはそれ以上の高速動作は保証されません。

弊社理想環境 *1 において、ポートの状態が変化してから 500ms 以内にイベントが発生することを確認していますが、すべての環境で同じように動作することを保証するものではありません。

- 一つの I/O ユニット、出力 I/O ポートに対する操作の制御

設定により、ある I/O ユニットの出力 I/O ポートに対する操作は、最後の操作の結果が反映されます。

- 出力 I/O ポートの初期値

I/O ユニットと PC が接続されたとき、I/O ユニットの初期化を行います。

初期化の結果、すべての出力 I/O ポートは OFF(0)となります。

初期化完了後、WCL plus による制御が開始されます。

- 出力 I/O ポートの制御中に I/O ユニットとの接続が切断された場合

I/O ユニットと PC の接続が切断された場合、再接続されるまで切断時点の状態を維持します。

再接続された場合、I/O ユニットの初期化のため、すべての出力 I/O ポートは OFF(0)となります。

初期化完了後は、WCL plus による制御が再開されます。

*1 システム構成を満たし、他のアプリケーションが起動しておらず、ネットワーク帯域を占有可能な環境

2-4. 双方向シルウォッチ連携

PCに双方向シルウォッチ送受信器を接続し、WCL plus の設定を行うことで、以下のような動作が可能です。

- ・特定の送信機の信号を受信した(呼び出しが発生した)時、既定のメッセージを送信
- ・I/O ユニットの入力によってメッセージを送信

双方向シルウォッチ腕時計型送受信器を身に着けている作業者に対して、ピンポイントに音、振動、メッセージで通知が可能です。

- * 双方向シルウォッチ呼び出しは、言語設定を日本語にした場合に使用可能です。英語に設定した場合は、基本設定画面に双方向シルウォッチ呼び出し機能は表示されません。
- * 基本設定の双方向シルウォッチ呼び出しが「有効」になっていない限り、全ての双方向シルウォッチ呼び出しは行われません。双方向シルウォッチ呼び出しを行う場合は、基本設定から双方向シルウォッチ呼び出しを「有効」にし、送受信器接続ポートを正しく設定してください。

■ 双方向シルウォッチ呼び出しの基本仕様

－ 呼び出し発生タイミング

双方向シルウォッチ呼び出しは以下の2つタイミングで実行されます。

- ・I/O ユニットの条件(アクション)として設定し、それが実行されたとき
(参照: [3-24. I/Oユニットの条件表示](#)、[3-25. I/Oユニットの条件新規追加・編集](#))
- ・呼び出しグループの設定で双方向シルウォッチ呼び出しを有効にし、その呼び出しグループに対する呼び出しが発生したとき
(参照: [3-29. 呼び出しグループ設定](#))

－ 呼び出しのメモリ

双方向シルウォッチ呼び出しは、発生順にメモリ(最大 100 件まで行われ、それ以降は破棄されます)され、基本設定で選択された送信間隔で順次実行されます(先入れ先出し)。その為、実際に呼び出されるまで時間が掛かることがあります。これは通信の混信を防ぎ、通信が成立しやすくする機能です。

－ 呼び出しの対象

WCL plus からの双方向シルウォッチ呼び出しは、常にすべての双方向シルウォッチ腕時計型送受信器に向けて行われます。特定の対象のみに絞りたい場合、双方向シルウォッチ腕時計型送受信器に設定が必要です。設定の確認、変更に関しては、双方向シルウォッチ設定アプリケーション(別売)をご利用いただくか、弊社営業部までお問い合わせください。

－ 到達保証

双方向シルウォッチ呼び出しが実行されても、それが双方向シルウォッチ腕時計型送受信器まで到達するかどうかは環境に依存し保証されません。

2-5. ネットワーク設定

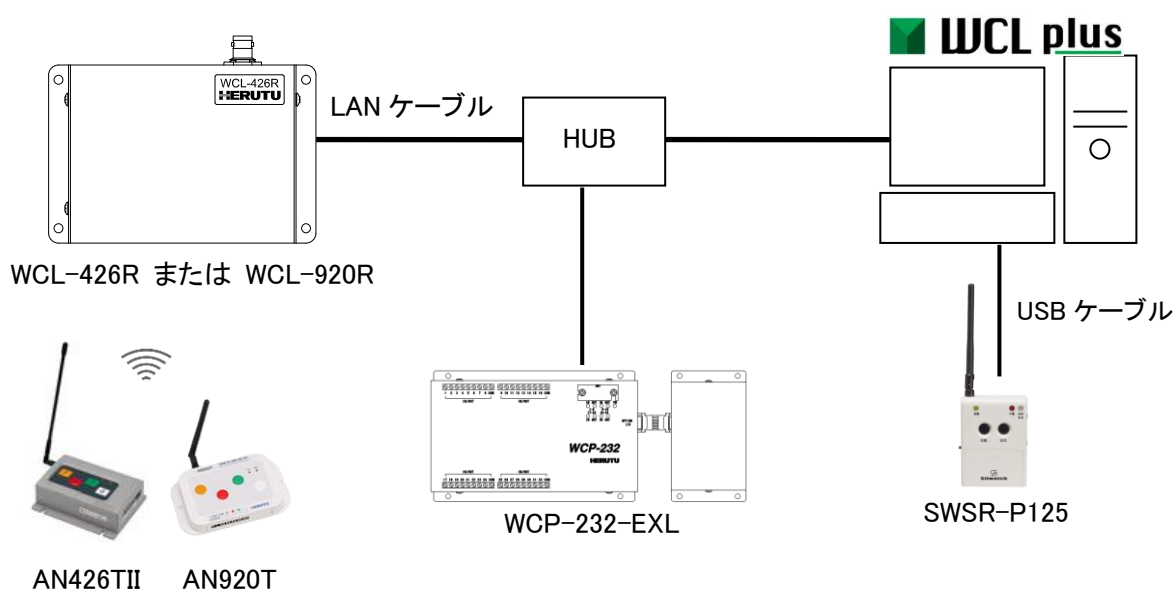
本アプリケーションは LAN 経由で受信機と通信を行います。受信機をネットワークにて使用するには、最初にネットワーク環境に合わせた IP アドレス設定をする必要があります。

IP アドレスは LAN 管理者から指定されたものを使用してください。

詳しくは「WCL-426R 取扱説明書」または「WCL-920R 取扱説明書」をご覧ください。

2-6. 機器構成

- 受信機の LAN コネクタとスイッチングハブや PC の LAN コネクタをケーブルで接続して下さい。
LAN ケーブルはカテゴリ 5 以上をご使用ください。
- 受信機、I/O ユニットには LAN ポートを判定する AutoMDI/MDI-X 機能はありませんので、
パソコン LAN ポートと直接接続する時はクロス結線の LAN ケーブルを使用してください。
- PC と双方向シルウォッチ送受信器を接続する場合、FTDI のドライバのインストールが別途必要です。
FTDI 社の HP より最新版をダウンロードしてインストールしてください。



3. WCL plus

最大 10 台の受信機が受信した AN426T II / AN920T からの呼び出し履歴を CSV 形式で保存します。
また、Web ブラウザ上で呼び出し状況の確認を行ったり、WCP-232-EXL や双方向シルウォッチと連携し、離れた場所で作業している個々の作業者に対して呼び出しを行うことができます。

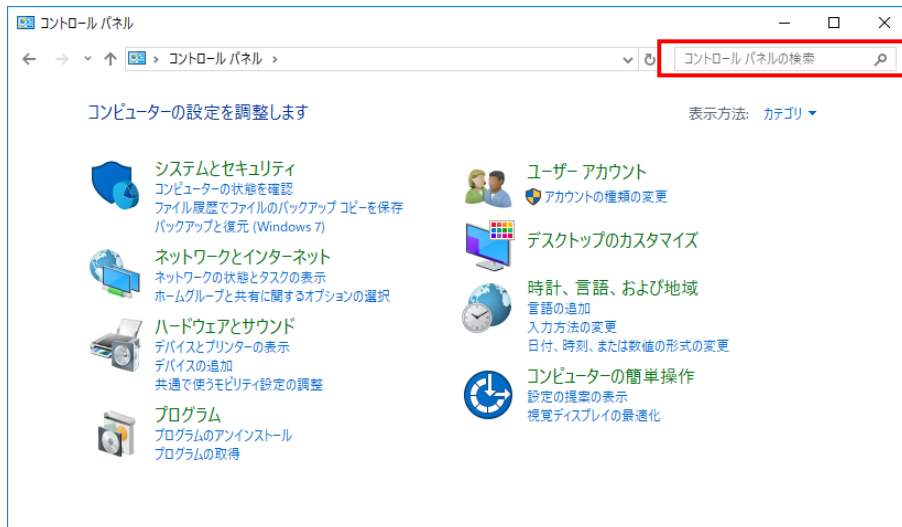
3-1. アプリケーションの形態

WCL plus は Windows サービスとして動作します。インストール直後の初期設定では WCL plus は PC 起動時に自動で開始され、PC 稼働中にバックグラウンドで動作し続けます。WCL が動作しているのかどうかといった状態確認や、動作(サービス)の停止などは Windows のサービス管理ツールから行ってください。

Windows のサービス管理ツール

「サービス管理ツール」ウィンドウは「コントロールパネル」から開きます。Windows のバージョンによって「コントロールパネル」の構成は異なりますので、ここでは検索を利用した方法を記載します。

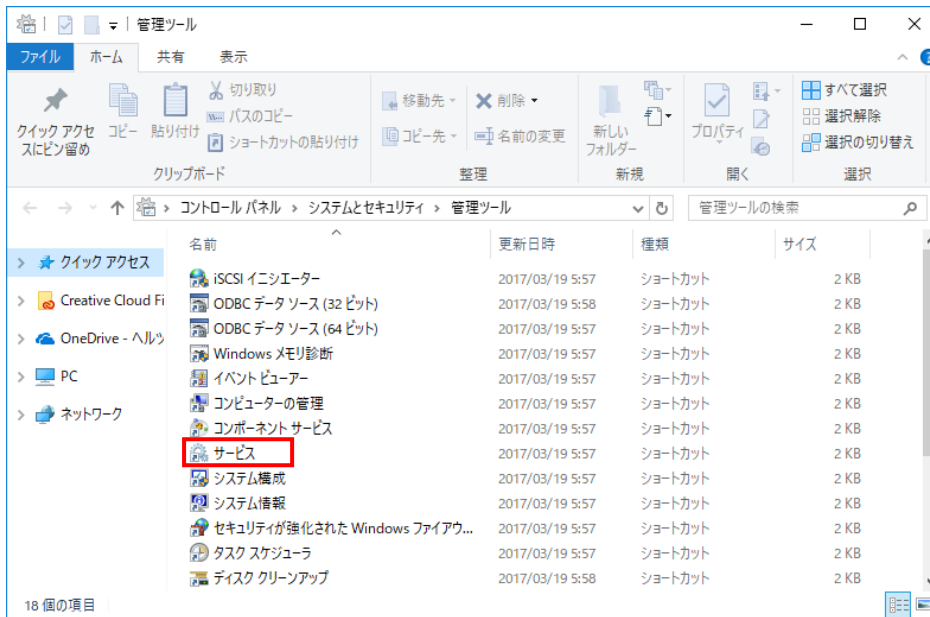
「コントロールパネル」で「コントロールパネルの検索」窓で「サービス」を検索します。



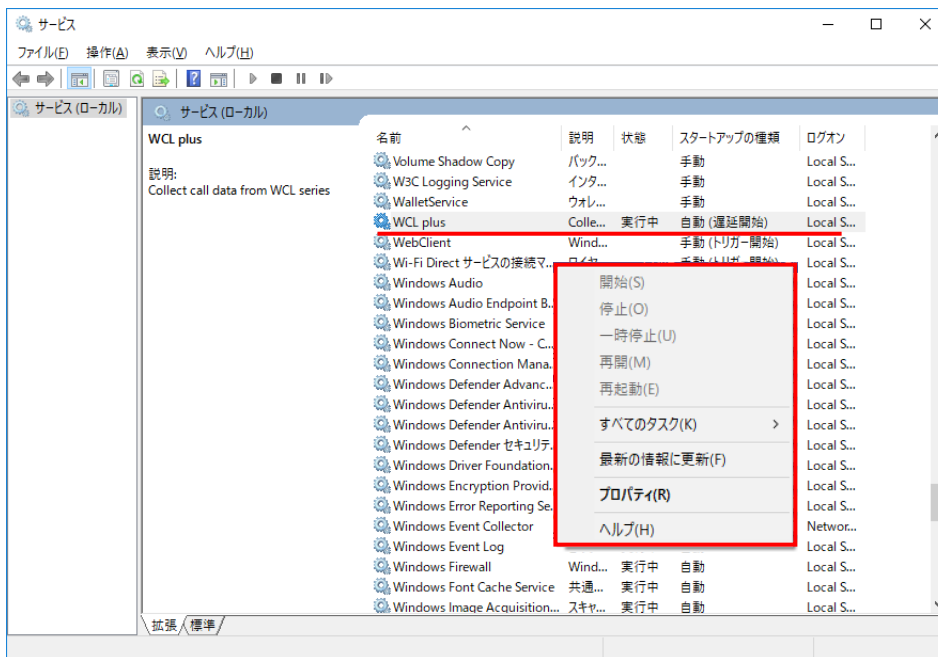
「サービス」が表示されたら「サービス」をクリックします。表示されなかったら「管理ツール」をクリックします。



管理ツールの一覧の「サービス」をダブルクリックします。



「サービス管理ツール」ウィンドウが表示されます。Windows サービスの開始・停止などのサービスの管理をすることができます。



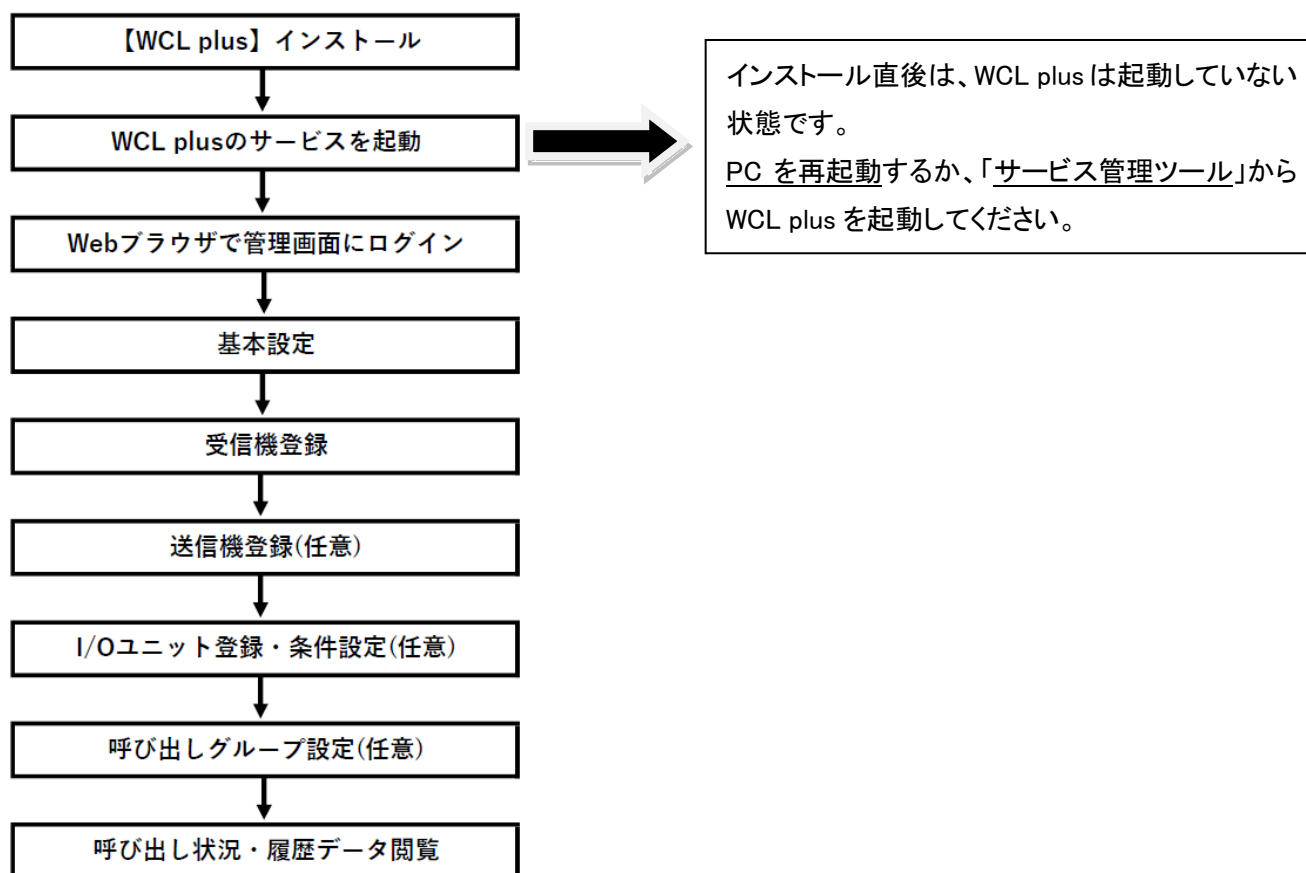
*1 管理画面や呼び出し状況確認画面を表示している Web ブラウザを終了しても、WCL plus のサービスを停止しない限りは、WCL plus はバックグラウンドで呼び出しデータの収集を行います。

*2 サービスを停止、または、再起動すると WCL plus の呼び出し状況はすべてクリアされます。

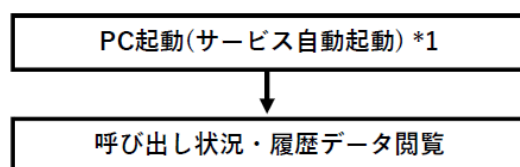
*3 PCのスリープ中は、本アプリケーションの動作も停止します。PCがスリープより復帰しますと、アプリケーションも動作を再開します。

3-2. WCL plus ご利用手順

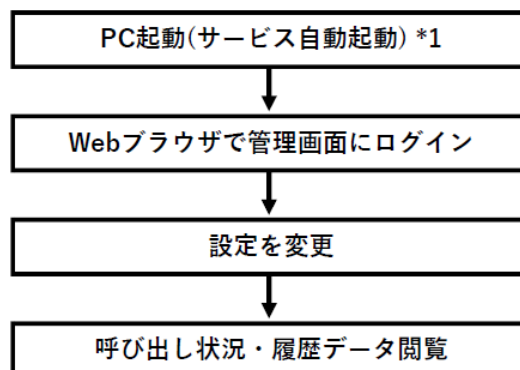
●アプリケーション購入直後(アプリケーションインストール前)



●各種設定が完了した後の普段の運用



●受信機や送信機の追加、各種設定の変更をする場合



*1 インストール時の初期設定です。

インストール後設定を変更した場合は、手動で WCL plus のサービスを起動する必要があります。

3-3. インストール

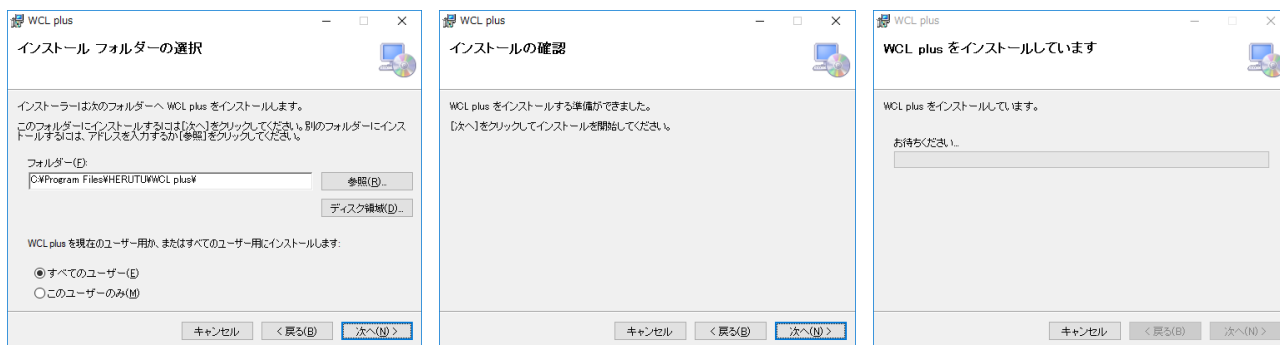
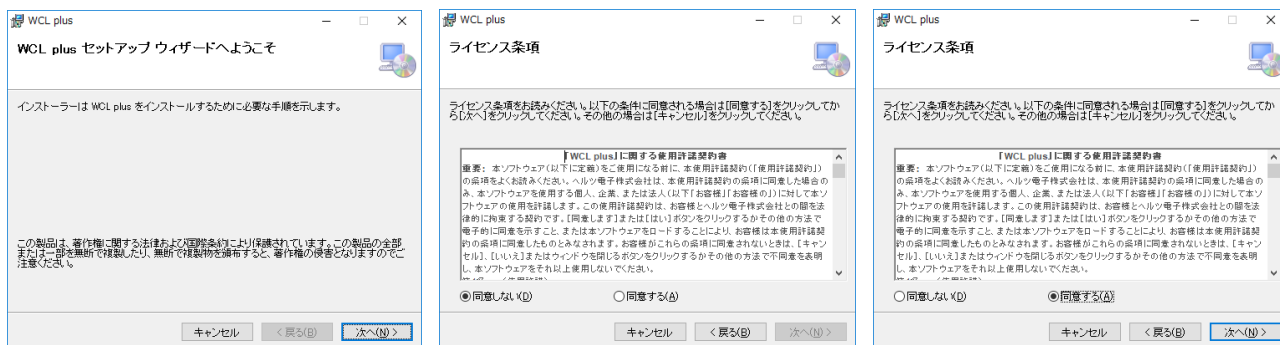
次の手順でアプリケーションをインストールしてください。

* 既に WCL plus V1.00 がインストールされている場合は、先にアンインストールしてから作業を行ってください。
(WCL plus V1.00 をアンインストールしても、設定は削除されず保持されます)

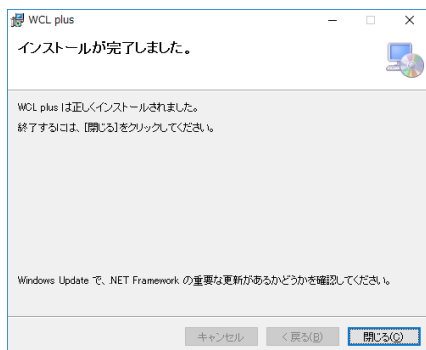
①CD-ROM を PC にセットします。

「エクスプローラ」より CD ドライブ内の Installer フォルダ内の「setup」ファイルを直接ダブルクリックしてください。

②「次へ(N)>」をクリックし、画面の指示に従って操作してください。



③「インストールが完了しました。」の画面が表示されたらインストール完了です。

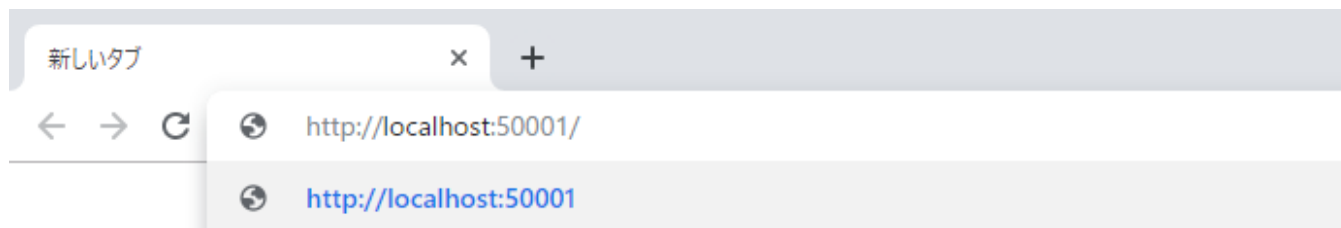


3-4. 管理画面へのアクセス

WCL plus の設定は管理画面から行います。管理画面へは、以下の手順でアクセスします。

* Web ブラウザは[1-2. 必要なシステム構成](#)に記載されたものを使用してください

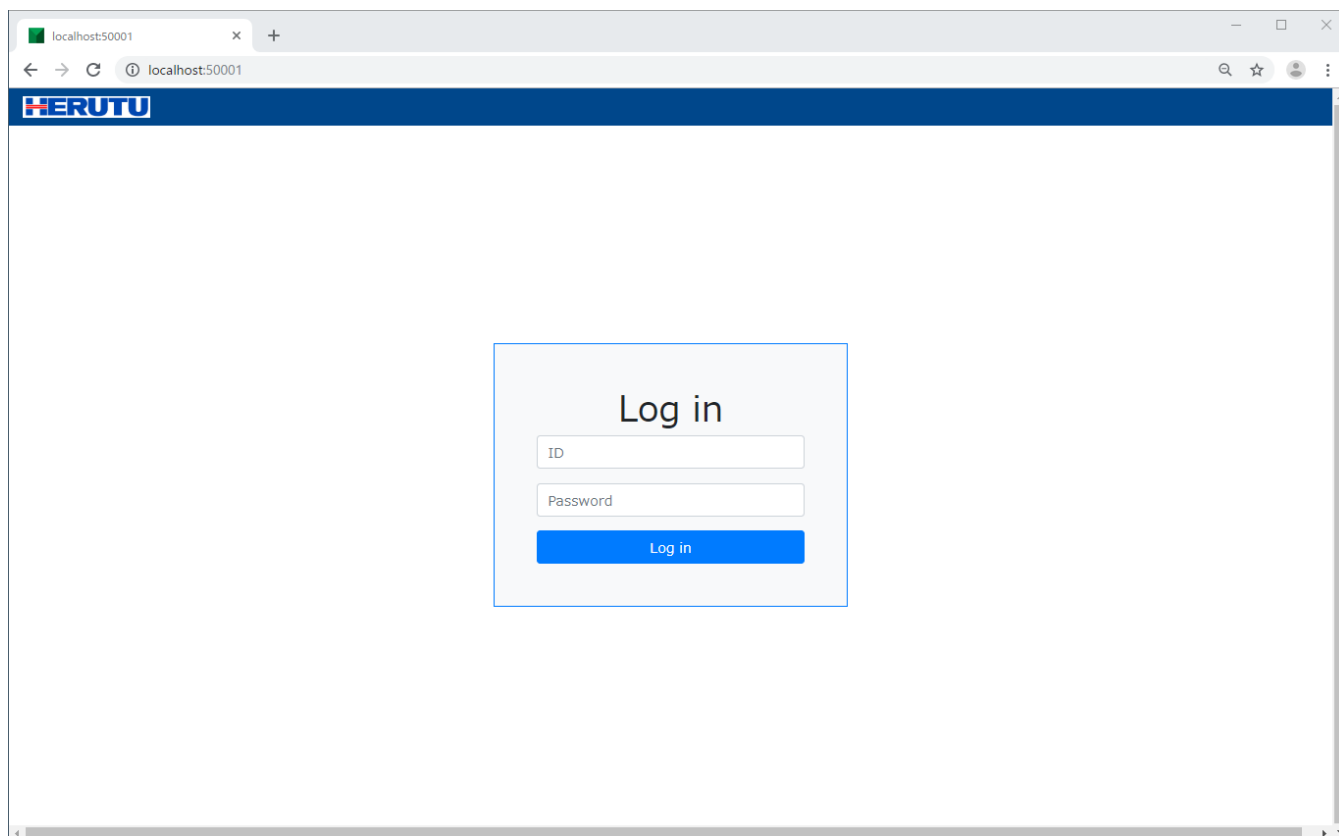
1. WCL plus をインストールした PC の Web ブラウザを開き、アドレスバーに「<http://localhost:50001>」(デフォルト)と入力し、Enter キーを押します。



2. ログイン画面が表示されます。ID、Password を入力し、Log in ボタンをクリックします。
デフォルトの ID と Password は以下の通りです(大文字小文字が区別されます)

ID: Admin

Password: Herutu001



3. ログインに成功すると、全般情報画面が表示されます。

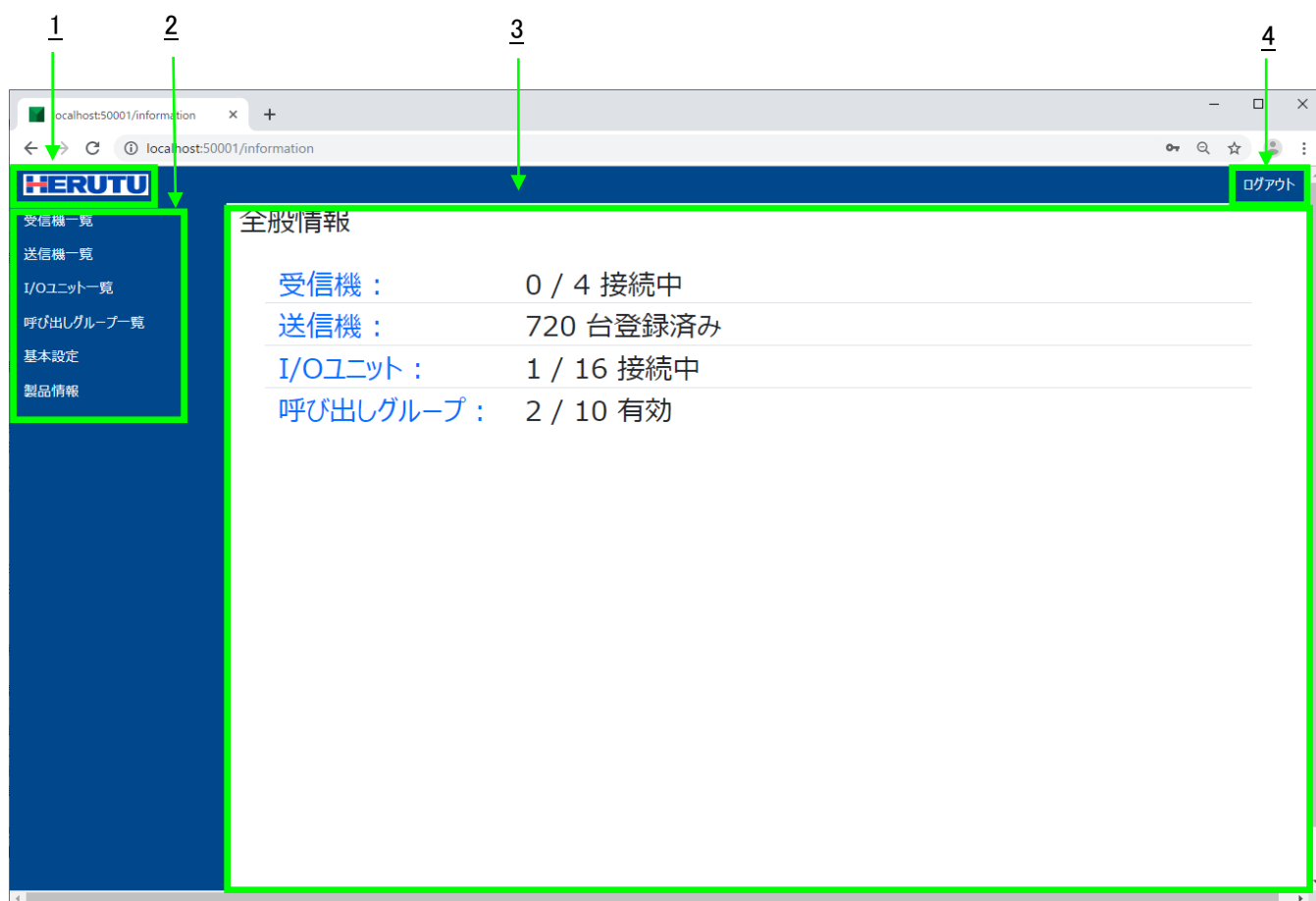
*1 データの整合性を保つため、同時ログイン数を制限しています。設定完了後は、必ずログアウトを行ってください。

ログアウトを行わず、ウィンドウを閉じた場合、約 10 分間ログインができなくなります。

*2 ログイン後の一部の画面を開いた状態で約 10 分間経過すると、ログイン状態が強制的に解除され、ログイン画面に戻される場合があります。その場合は、再度 ID、Password を入力しログインしてください。

3-5. 画面構成

基本的な画面構成は以下のようになっています。



| | 項目 | 内容 |
|---|-----------|---|
| 1 | HERUTU ロゴ | クリックすると「全般情報」画面が 3 に表示されます。 |
| 2 | メニュー表示部 | 各画面に遷移するためのメニューです。クリックすると該当する画面が 3 に表示されます。 |
| 3 | メイン画面表示部 | メインとなる表示部です。表示、編集、削除を行う際にはここが主に使用されます。 |
| 4 | ログアウトボタン | クリックするとログアウト処理が実行され、ログイン画面に戻ります。必要な設定完了後はこのボタンをクリックしてログアウトしてください。 |

3-6. 全般情報画面

WCL plus に登録されている受信機、送信機、I/O ユニットと呼び出しグループの現在の状態をサマリ表示します。

| 全般情報 | |
|------|---------------------|
| 1 | 受信機： 0 / 4 接続中 |
| 2 | 送信機： 720 台登録済み |
| 3 | I/Oユニット： 1 / 16 接続中 |
| 4 | 呼び出しグループ： 2 / 10 有効 |

| | 項目 | 内容 |
|---|------------------|---|
| 1 | 受信機の接続数/登録数 | WCL plus に登録された受信機のうち、接続済の数と登録済みの数を表示します。「0/4」となっている場合、4 台登録されて、うち 0 台が接続済であることを表します。 接続済の受信機数は、約 5 秒ごとに更新されます。 項目をクリックすると、「受信機一覧」画面が表示されます。 |
| 2 | 送信機の登録数 | WCL plus に登録された送信機の数を表示します。 項目をクリックすると、「送信機一覧」画面が表示されます。 |
| 3 | I/O ユニットの接続数/登録数 | WCL plus に登録された I/O ユニットのうち、接続済の数と登録済みの数を表示します。「1/16」となっている場合、16 台登録されて、うち 1 台が接続済であることを表します。 接続済の I/O ユニットの数は、約 5 秒ごとに更新されます。 項目をクリックすると、「I/O ユニット一覧」画面が表示されます。 |
| 4 | 呼び出しグループの閲覧有効数 | WCL plus に登録された呼び出しグループ数と、「閲覧」が有効になっている呼び出しグループの数を表示します。「2/10」となっている場合、10 呼び出しグループのうち 2 つの「閲覧」が有効になっていることを表します。（「閲覧」が有効なグループは、「呼び出し状況確認」画面から現在の呼び出し状況を確認することができます） 項目をクリックすると、「呼び出しグループ一覧」画面が表示されます。 |

3-7. 基本設定画面

WCL plus の基本設定を表示します。設定変更もこの画面から行います。

基本設定

言語: ← 1

管理画面パスワード: 新しいパスワード: ← 2
再入力: ← 3

Webサービスポート番号: ← 4
ポート番号の変更には再起動が必要です

I/Oユニットのログ出力: 有効 無効 ← 5

双方向シルウォッチ呼び出し: 有効 無効 ← 6

接続状態: 未接続
送受信器名:
ラジオID:
グループID: ← 9

送受信器接続ポート: ← 7
送信間隔(秒): ← 8

← 10

| 項目 | 内容 | 入力例 |
|----------------------|---|-----------------|
| 1 言語 | WCL plus で表示する言語を設定します。 [選択肢:日本語、英語] | 初期値は OS 言語設定による |
| 2 管理画面パスワード | 管理画面にログインするためのパスワードを変更する際には、ここに新しいパスワードを入力します。 何も入力されていない場合は、パスワードは変更されず維持されます。[任意: 0-20 文字] | 空(初期値) |
| 3 管理画面パスワード(再入力) | 管理画面にログインするためのパスワードを変更する際には、ここに 2 と同じパスワードを入力します。 [任意: 0-20 文字] | 空(初期値) |
| 4 Web サービスポート | WCL plus が Web の要求を待ち受けるポート番号を設定します。運用上、特に問題が無い場合は変更しないでください。この値を変更はサービスを再起動するまでは反映されません。 | 50001(初期値) |
| 5 I/O ユニットのログ出力 | I/O ユニットの動作履歴データの出力を有効にするか無効にするかを選択します。 | 有効(初期値) |
| 6 双方向シルウォッチ呼び出し | 双方向シルウォッチ呼び出しを有効にするか無効にするかを選択します。この設定は WCL plus 全体の双方向シルウォッチ呼び出しに影響し、最も優先される設定値です。 | 無効(初期値) |
| 7 双方向シルウォッチ送受信器接続ポート | 双方向シルウォッチ送受信器が接続されている COM ポートを選択します。 | COM1 |
| 8 双方向シルウォッチ呼び出し間隔 | 双方向シルウォッチでの呼び出しを行う間隔を選択します。これは混信を避け、より確実に呼び出しを行うためのものです。[選択肢: 15, 30, 45]秒 | 30(初期値) |
| 9 双方向シルウォッチ送受信器情報 | 双方向シルウォッチ送受信器との接続状態と、双方向シルウォッチ送受信器の設定値を表示します。 接続状態は、「未接続、接続済」の何れかとなり、「接続済」となっていれば、呼び出しが行える状態であることを示します。送受信器名、ラジオ ID、グループ ID は、双方向シルウォッチ送受信器の設定値です。 | - |

| | | | |
|----|-------|---|---|
| 10 | 保存ボタン | 設定した情報で条件を保存します。 入力に不備がある場合は、このボタンの上の領域にエラー内容が表示され保存されません。 | - |
|----|-------|---|---|

3-8. 受信機一覧画面

登録済みの受信機を一覧で表示します。受信機の新規登録、登録情報の更新、削除もこの画面から行います。

受信機一覧

| | 受信機名 | IPアドレス | ポート番号 |
|--------------------------|------------|-----------------|-------|
| <input type="checkbox"/> | エンジン組立ラインA | 192.168.251.202 | 50001 |
| <input type="checkbox"/> | エンジン組立ラインB | 192.168.251.32 | 30003 |
| <input type="checkbox"/> | 加工機A | 192.168.251.32 | 30004 |
| <input type="checkbox"/> | 加工機B | 192.168.251.32 | 30005 |

| 項目 | 内容 |
|----|--|
| 1 | 受信機新規登録ボタン WCL plus に受信機を新規登録する際に使用するボタンです。 クリックすると受信機登録ダイアログが表示されます。 受信機が 10 台登録されている場合は無効となります。 |
| 2 | 登録済み受信機一覧 WCL plus に登録されている受信機を一覧で表示します。 1 行が 1 受信機に対応し、受信機名、IP アドレス、ポート番号が表示されます。 各行の背景色は接続が完了しているかどうかを表し、背景色が白色場合は接続済、ピンク色の場合は未接続を表します。 受信機との接続状態は、約 5 秒ごとに更新されます。 |
| 3 | 受信機削除ボタン WCL plus に登録された受信機を削除する際に使用するボタンです。 削除する受信機の 4 のチェックボックスを ON にして、このボタンをクリックすると受信機削除ダイアログが表示されます。 4 のチェックボックスが 1 つも ON になっていない場合は無効となります。 |
| 4 | 削除対象受信機選択チェックボックス 削除する受信機を選択する際に使用するチェックボックスです。 チェックボックスが ON になっている状態で 3 をクリックすると受信機削除ダイアログが表示されます。 ヘッダ行のチェックボックスを ON/OFF すると、全ての受信機のチェックボックスが連動して ON/OFF されます。 |
| 5 | 受信機情報編集ボタン 既に登録済みの受信機の情報編集の際に使用するボタンです。 編集したい受信機の行のボタンをクリックすると、受信機情報編集ダイアログが表示されます。 |
| 6 | 受信機情報複写ボタン 既に登録済みの受信機のコピーして、新規登録の際に使用するボタンです。登録済みの受信機情報の一部だけ変えて登録したい場合に便利です。 受信機が 10 台登録されている場合は無効となります。 |

3-9. 受信機の新規登録

受信機を新規登録する場合は、受信機一覧画面の「新規登録」ボタンをクリックします。

「新規登録」ボタンをクリックすると受信機登録ダイアログが表示されます。

受信機登録等のダイアログが表示されている間は、メニューやログアウトは無効となります。

必要事項を入力して「登録」ボタンをクリックすると、受信機が登録されます。



| 項目 | 内容 | 入力例 |
|----------|---|----------------|
| <u>1</u> | 受信機名 受信機を区別するための名前を入力します。 [必須: 1-30 文字] | エンジン組立 A ライン |
| <u>2</u> | IP アドレス 受信機の IP アドレスを入力します。 同一の IP アドレスとポート番号を持つ受信機は登録できません。 [必須] | 192.168.100.10 |
| <u>3</u> | ポート番号 受信機のポート番号を入力します。 [必須: 1-65535] | 50001(初期値) |
| <u>4</u> | 保存ボタン 入力した情報で受信機を登録します。 入力に不備がある場合は、各項目の下にエラー内容が表示され登録されません。内容を確認の上、修正後に再度保存してください。 登録完了時、受信機の登録数が 10 台になるまでは、ダイアログは閉じることなく表示され続けます。 その際、 <u>6</u> の状態に応じて、 <u>1,2,3</u> の項目が初期化されます。 | - |
| <u>5</u> | 閉じるボタン クリックするとダイアログが閉じます。その際、保存されていない情報は全て破棄されます。 | - |
| <u>6</u> | 保存後も入力情報を残す 保存ボタンにより、受信機が登録された際に <u>1,2,3</u> の各項目を初期化するかどうかを決めるチェックボックスです。ON になっている場合は、 <u>1,2,3</u> の各項目が保存完了後も引き継がれます。 | ON(初期値) |

WCL plus は登録された受信機に対して自動で接続を試みます。接続が完了したかどうかは、「受信機一覧」画面で確認してください。

3-10. 受信機情報の編集

登録済みの受信機の情報を編集する場合は、受信機一覧画面の「編集」ボタンをクリックします。

編集したい受信機情報が表示されている行の「編集」ボタンをクリックしてください。

「編集」ボタンをクリックすると受信機情報編集ダイアログが表示されます。

必要な項目を編集の上、「保存」ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the '受信機一覧' (Receiver List) interface. On the left, there is a table with columns for checkboxes, '編集' (Edit), and '複写' (Copy). A '新規登録' (New Registration) button is at the top left. A modal dialog box titled '編集' (Edit) is open in the center. It contains three input fields: '受信機名' (Receiver Name) with the value 'エンジン組立ラインA', 'IPアドレス' (IP Address) with the value '192.168.251.202', and 'ポート番号' (Port Number) with the value '50001'. All three fields and the '保存' (Save) button are highlighted with green boxes. The background table has a 'ポート番号' (Port Number) column header.

受信機情報編集ダイアログは、保存完了時に自動的に閉じられます。

3-11. 受信機情報の複写

登録済みの受信機の情報を元に新規登録する場合は、受信機一覧画面の「複写」ボタンをクリックします。

複写したい受信機情報が表示されている行の「複写」ボタンをクリックしてください。

各項目に複写元の情報が入力された状態で、受信機登録ダイアログが表示されます。

新規登録と同様に、必要な項目の入力・編集を行い「保存」ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the '受信機一覧' (Receiver List) interface. A modal dialog box titled '新規登録' (New Registration) is open in the center. It contains three input fields: '受信機名' (Receiver Name) with the value 'エンジン組立ラインA', 'IPアドレス' (IP Address) with the value '192.168.251.202', and 'ポート番号' (Port Number) with the value '50001'. All three fields and the '保存' (Save) button are highlighted with green boxes. At the bottom of the dialog, there is a checkbox labeled '保存後も入力情報を残す' (Keep input information after saving) which is checked. The background table has a 'ポート番号' (Port Number) column header.

3-12. 受信機の削除

登録済みの受信機を削除する場合は、受信機一覧画面の「対象を削除」ボタンをクリックします。

「対象を削除」ボタンは初期状態では無効となっている為、登録済み受信機一覧から削除したい受信機の行のチェックボックスを ON にしてください。「対象を削除」ボタンが有効となります。

「対象を削除」ボタンをクリックすると、受信機削除ダイアログが表示されます。



| | 項目 | 内容 | 入力例 |
|----------|----------|----------------------------------|-----|
| <u>1</u> | 削除件数表示 | 削除する受信機の数メッセージ表示します。 | - |
| <u>2</u> | OK ボタン | クリックすると受信機を削除します。 | - |
| <u>3</u> | キャンセルボタン | クリックするとダイアログが閉じます。受信機の削除は行われません。 | - |

WCL plus は登録された受信機を削除すると、その受信機との接続も切断します。

3-13. 送信機一覧画面

登録済みの送信機を一覧で表示します。送信機の新規登録、登録情報の更新、削除もこの画面から行います。

送信機一覧

| 項目 | 内容 |
|----|---|
| 1 | 送信機絞り込みフォーム表示非表示切り替えボタン 5に表示する送信機を絞り込む際に使用するボタンです。一度クリックすると絞り込みフォームが表示され、絞り込みフォームが表示されている状態でクリックすると、絞り込みフォームが非表示になります。 詳細は、 3-14. 送信機の絞り込み を参照してください。 |
| 2 | 送信機新規追加ボタン WCL plus に送信機を新規登録する際に使用するボタンです。クリックすると送信機登録ダイアログが表示されます。送信機が 8000 台登録されている場合は無効となります。 |
| 3 | 送信機削除ボタン WCL plus に登録された送信機を削除する際に使用するボタンです。削除する送信機の 8 のチェックボックスを ON にして、このボタンをクリックすると送信機削除ダイアログが表示されます。8 のチェックボックスが 1 つも ON になっていない場合は無効となります。 |
| 4 | 表示件数切り替え、ページ切り替え 1 ページあたりの表示件数の切り替えと、表示するページを切り替える際に使用します。 表示件数は[10(初期値), 25, 50]から 1 つ選択します。選択内容は Web ブラウザに保存され、次に「送信機一覧」画面を開いた際には自動的に選択されます。 ページ切り替えは、該当のページ番号、または、「<」、「>」、「<<」、「>>」を選択して行います。「<」、「>」はそれぞれ一つ前、次のページに切り替わります。「<<」、「>>」はそれぞれ最初のページ、最後のページに切り替わります。 |

| | | |
|-----------|-------------------|---|
| <u>5</u> | 登録済み送信機一覧 | WCL plus に登録されている送信機を一覧で表示します。 1 行が 1 送信機に対応し、送信機名、CH、SET、UNIT、KIKI/ID が表示されます。 |
| <u>6</u> | 各ボタン、外部入力の状態名 | ボタン 1-3、外部入力 1-3 にそれぞれ設定された状態名を表示します。 デフォルトでは非表示となっています。 |
| <u>7</u> | 状態名の表示非表示切り替え | 状態名の表示非表示を切り替える際に使用します。 クリックするたびに <u>6</u> の状態名の表示非表示が切り替わります。 ヘッダ行をクリックすると、表示されている全ての送信機の状態名の表示非表示が切り替わります。 |
| <u>8</u> | 削除対象送信機選択チェックボックス | 削除する送信機を選択する際に使用するチェックボックスです。 チェックボックスが ON になっている状態で <u>3</u> をクリックすると送信機削除ダイアログが表示されます。 ヘッダ行のチェックボックスを ON/OFF すると、表示されている全ての送信機のチェックボックスが連動して ON/OFF されます。 |
| <u>9</u> | 送信機情報編集ボタン | 既に登録済みの送信機の情報編集の際に使用するボタンです。 編集したい送信機の行のボタンをクリックすると、送信機情報編集ダイアログが表示されます。 |
| <u>10</u> | 送信機情報複写ボタン | 既に登録済みの送信機のコピーして、新規登録の際に使用するボタンです。登録済みの送信機情報の一部だけ変えて登録したい場合に便利です。 送信機が 8000 台登録されている場合は無効となります。 |

3-14. 送信機の絞り込み

「送信機一覧」画面の絞り込みフォームを使用すると、一覧として表示する送信機の絞り込みを行なえます。特定の送信機の設定の確認・変更をしたい際に便利です。

| 項目 | 内容 |
|----|---|
| 1 | 送信機絞り込みフォーム表示非表示切り替えボタン 絞り込みフォームの表示機表示を切り替えるボタンです。一度クリックすると絞り込みフォームが表示され、絞り込みフォームが表示されている状態でクリックすると、絞り込みフォームが非表示になります。 |
| 2 | CH 選択 CH により送信機を絞り込みます。空欄を設定した場合は、CH による絞り込みは行われません。 [任意: 空欄, 01-16](初期値: 空欄) |
| 3 | SET 選択 SET により送信機を絞り込みます。空欄を設定した場合は、SET による絞り込みは行われません。 [任意: 空欄, 0-9](初期値: 空欄) |
| 4 | UNIT 選択 UNIT により送信機を絞り込みます。空欄を設定した場合は、UNIT による絞り込みは行われません。 [任意: 空欄, 0-9](初期値: 空欄) |
| 5 | KIKI/ID 選択 KIKI/ID により送信機を絞り込みます。空欄を設定した場合は、KIKI/ID による絞り込みは行われません。 [任意: 空欄, 0-9](初期値: 空欄) |
| 6 | 送信機名入力 送信機名により送信機を絞り込みます。入力した送信機名は部分一致(どこかに含まれる)で絞り込みが行われます。 空欄を設定した場合は、送信機名による絞り込みは行われません。 [任意: 自由入力](初期値: 空欄) |
| 7 | 絞り込みボタン 2, 3, 4, 5, 6 に設定された内容を元に送信機を絞り込みます。2, 3, 4, 5, 6 の各項目設定値を全て満たす送信機だけが絞りこまれます。 |

絞り込みを行うと、表示しているページは強制的に 1 ページ目に変更されます。

3-15. 送信機の新規登録

送信機を新規登録する場合は、送信機一覧画面の「新規登録」ボタンをクリックします。

「新規登録」ボタンをクリックすると送信機登録ダイアログが表示されます。

送信機登録等のダイアログが表示されている間は、メニューやログアウトは無効となります。

必要事項を入力して「登録」ボタンをクリックすると、送信機が登録されます。



| 項目 | 内容 | 入力例 |
|----|---|--|
| 1 | 送信機名 送信機を区別するための名前を入力します。 [任意: 0-30 文字] | エンジン組立 A ライン |
| 2 | CH/SET/UNIT/ID(KIKI) 送信機の CH/SET/UNIT/ID を設定します。 左から CH/SET/UNIT/ID の順になっています。 同一の CH/SET/UNIT/ID を持つ送信機は登録できません。 CH: [必須: 01-16] SET: [必須: 0-9] UNIT: [必須: 0-9] ID: [必須: 0-9] | CH: 01(初期値) SET: 0(初期値) UNIT: 0(初期値) ID: 1(初期値) |
| 3 | ボタン 1(オレンジ) ボタン 1(オレンジ色)を押したときの状態名を入力します。 何も入力されていない場合は KEY1 と表示されます。 [任意: 0-30 文字] | 生産部品切れ発生 |
| 4 | ボタン 2(赤) ボタン 2(赤色)を押したときの状態名を入力します。 何も入力されていない場合は KEY2 と表示されます。 [任意: 0-30 文字] | 異常発生 |
| 5 | ボタン 3(緑) ボタン 3(緑色)を押したときの状態名を入力します。 何も入力されていない場合は KEY3 と表示されます。 [任意: 0-30 文字] | 生産完成品運搬の依頼 |

| | | | |
|-----------|-------------|---|------------|
| <u>6</u> | 入力 1(オレンジ) | 外部入力 1(オレンジ色)を押したときの状態名を入力します。何も入力されていない場合は TERMINAL1 と表示されます。 [任意: 0-30 文字] | 生産部品切れ発生 |
| <u>7</u> | 入力 2(赤) | 外部入力 2(赤色)を押したときの状態名を入力します。何も入力されていない場合は TERMINAL2 と表示されます。 [任意: 0-30 文字] | 異常発生 |
| <u>8</u> | 入力 3(緑) | 外部入力 3(緑色)を押したときの状態名を入力します。何も入力されていない場合は TERMINAL3 と表示されます。 [任意: 0-30 文字] | 生産完成品運搬の依頼 |
| <u>9</u> | 保存ボタン | 入力した情報で送信機を登録します。 入りに不備がある場合は、各項目の下にエラー内容が表示され登録されません。内容を確認の上、修正後に再度保存してください。 登録完了時、送信機の登録数が 8000 台になるまでは、ダイアログは閉じることなく表示され続けます。 その際、 <u>11</u> の状態に応じて、 <u>1,2,3,4,5,6,7,8</u> の項目が初期化されます。 | - |
| <u>10</u> | 閉じるボタン | クリックするとダイアログが閉じます。その際、保存されていない情報は全て破棄されます。 | - |
| <u>11</u> | 保存後も入力情報を残す | 項目を初期化するかどうかを決めるチェックボックスです。ONになっている場合は、 <u>1,2,3</u> の各項目が保存完了後も引き継がれます。 | ON(初期値) |

送信機名、ボタン 1-3、入力 1-3 に設定した内容は「加工データ」に出力される際に使用されます。

また、送信機名は先頭 5 文字が「呼び出し状況確認」画面で表示されます。

3-16. 送信機情報の編集

登録済みの送信機の情報編集する場合は、送信機一覧画面の「編集」ボタンをクリックします。

編集したい送信機情報が表示されている行の「編集」ボタンをクリックしてください。

「編集」ボタンをクリックすると送信機情報編集ダイアログが表示されます。

必要な項目を編集の上、「保存」ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the '送信機一覧' (Transmitter List) interface. A modal dialog titled '編集' (Edit) is open, allowing for the modification of transmitter information. The dialog contains the following fields and data:

- 送信機名** (Transmitter Name): エンジン組立ラインA-1
- CH/SET/UNIT/ID**: 01, 0, 0, 1
- ボタン1(オレンジ)** (Button 1 (Orange)): 生産部品切れ発生 (Production parts shortage occurrence)
- ボタン2(赤)** (Button 2 (Red)): 異常発生 (Abnormal occurrence)
- ボタン3(緑)** (Button 3 (Green)): 生産完成品運搬の依頼 (Request for production finished goods transport)
- 入力1(オレンジ)** (Input 1 (Orange)): 生産部品切れ発生 (Production parts shortage occurrence)
- 入力2(赤)** (Input 2 (Red)): 異常発生 (Abnormal occurrence)
- 入力3(緑)** (Input 3 (Green)): 生産完成品運搬の依頼 (Request for production finished goods transport)

The '保存' (Save) button is highlighted in blue, and the '閉じる' (Close) button is in grey. The background shows a table with columns for 'UNIT' and 'KIKI/I'.

送信機情報編集ダイアログは、保存完了時に自動的に閉じられます。

3-17. 送信機情報の複写

登録済みの送信機の情報をもとに新規登録する場合は、送信機一覧画面の「複写」ボタンをクリックします。

複写したい送信機情報が表示されている行の「複写」ボタンをクリックしてください。

各項目に複写元の情報が入力された状態で、送信機登録ダイアログが表示されます。

新規登録と同様に、必要な項目の入力・編集を行い「保存」ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the '送信機一覧' (Transmitter List) interface. A '新規登録' (New Registration) dialog box is open, displaying the following information:

- 送信機名: エンジン組立ラインA-1
- CH/SET/UNIT/ID: 01, 0, 0, 1
- ボタン1(オレンジ): 生産部品切れ発生
- ボタン2(赤): 異常発生
- ボタン3(緑): 生産完成品運搬の依頼
- 入力1(オレンジ): 生産部品切れ発生
- 入力2(赤): 異常発生
- 入力3(緑): 生産完成品運搬の依頼

The '保存' (Save) button is highlighted in blue. Below the buttons, there is a checkbox labeled '保存後も入力情報を残す' (Keep input information after saving), which is checked.

| | UNIT | KIKI/I |
|--|------|--------|
| | 0 | 0 |
| | 0 | 0 |
| | 0 | 0 |
| | 0 | 0 |
| | 0 | 1 |
| | 0 | 1 |
| | 0 | 1 |
| | 0 | 1 |
| | 0 | 1 |

3-18. 送信機の削除

登録済みの送信機を削除する場合は、送信機一覧画面の「対象を削除」ボタンをクリックします。

「対象を削除」ボタンは初期状態では無効となっている為、登録済み送信機一覧から削除したい送信機の行のチェックボックスを ON にしてください。「対象を削除」ボタンが有効となります。

「対象を削除」ボタンをクリックすると、送信機削除ダイアログが表示されます。



| | 項目 | 内容 | 入力例 |
|----------|----------|----------------------------------|-----|
| <u>1</u> | 削除件数表示 | 削除する送信機の数メッセージ表示します。 | - |
| <u>2</u> | OK ボタン | クリックすると送信機を削除します。 | - |
| <u>3</u> | キャンセルボタン | クリックするとダイアログが閉じます。送信機の削除は行われません。 | - |

3-19. I/O ユニット一覧画面

登録済みの I/O ユニットを一覧で表示します。I/O ユニットの新規登録、登録情報の更新、削除もこの画面から行います。

| | | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|------------|-------------|-----------------|-------|
| <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 新規登録 ← 1 2 ↓ 対象を削除 ← 3 </div> | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 複写 | 状態 | 条件 | I/Oユニット名 | I/Oユニットタイプ | IPアドレス | ポート番号 |
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 複写 | 状態 | 条件 | エンジン組立ラインA | WCL-232-EXL | 192.168.251.203 | 50001 |
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 複写 | 状態 | 条件 | エンジン組立ラインB | WCL-232-EXL | 192.168.251.32 | 51200 |
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 複写 | 状態 | 条件 | 加工機A | WCL-232-EXL | 192.168.251.32 | 51201 |
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 複写 | 状態 | 条件 | 加工機B | WCL-232-EXL | 192.168.251.32 | 51202 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | | | |

| 項目 | 内容 |
|----|---|
| 1 | I/O ユニット新規登録ボタン WCL plus に I/O ユニットの登録を行う際に使用するボタンです。クリックすると I/O ユニット登録ダイアログが表示されます。I/O ユニットが 16 台登録されている場合は無効となります。 |
| 2 | 登録済み I/O ユニット一覧 WCL plus に登録されている I/O ユニットを一覧で表示します。1 行が 1 I/O ユニットに対応し、I/O ユニット名、I/O ユニットタイプ、IP アドレス、ポート番号が表示されます。各行の背景色は接続が完了しているかどうかを表し、背景色が白色場合は接続済、ピンク色の場合は未接続を表します。I/O ユニットとの接続状態は、約 5 秒ごとに更新されます。 |
| 3 | I/O ユニット削除ボタン WCL plus に登録された I/O ユニットの削除を行う際に使用するボタンです。削除する I/O ユニットの 4 のチェックボックスを ON にして、このボタンをクリックすると I/O ユニット削除ダイアログが表示されます。4 のチェックボックスが 1 つも ON になっていない場合は無効となります。 |
| 4 | 削除対象 I/O ユニット選択チェックボックス 削除する I/O ユニットを選択する際に使用するチェックボックスです。チェックボックスが ON になっている状態で 3 をクリックすると I/O ユニット削除ダイアログが表示されます。ヘッダ行のチェックボックスを ON/OFF すると、全ての I/O ユニットのチェックボックスが連動して ON/OFF されます。 |
| 5 | I/O ユニット情報編集ボタン 既に登録済みの I/O ユニットの情報を編集する際に使用するボタンです。編集したい I/O ユニットの行のボタンをクリックすると、I/O ユニット情報編集ダイアログが表示されます。 |
| 6 | I/O ユニット情報複写ボタン 既に登録済みの I/O ユニットの情報をコピーして、新規登録する際に使用するボタンです。登録済みの I/O ユニット情報の一部だけ変えて登録したい場合に便利です。I/O ユニットが 16 台登録されている場合は無効となります。 |
| 7 | I/O ポート状態表示ボタン I/O ユニットの各 I/O ポートの状態を表示する際に使用するボタンです。表示したい I/O ユニットの行のボタンをクリックすると、I/O ポート状態表示ダイアログが表示されます。 詳細は、 3-23. I/Oポートの状態の確認 を参照してください。 |
| 8 | I/O ユニット条件設定ボタン I/O ユニットの各 I/O ポートの状態が変化したとき、どのような動作を行うかを設定する際に使用するボタンです。 詳細は、 3-24. I/Oユニットの条件表示 を参照してください。 |

3-20. I/O ユニットの新規登録

I/O ユニットを新規登録する場合は、I/O ユニット一覧画面の「新規登録」ボタンをクリックします。

「新規登録」ボタンをクリックすると I/O ユニット登録ダイアログが表示されます。

I/O ユニット登録等のダイアログが表示されている間は、メニューやログアウトは無効となります。

必要事項を入力して「登録」ボタンをクリックすると、I/O ユニットが登録されます。



| 項目 | 内容 | 入力例 |
|----|--|----------------|
| 1 | I/O ユニット名 I/O ユニットを区別するための名前を入力します。 [必須: 1-30 文字] | エンジン組立 A ライン |
| 2 | I/O ユニットタイプ I/O ユニットタイプを選択します。[必須] | WCL-232-EXL |
| 3 | IP アドレス I/O ユニットの IP アドレスを入力します。 同一の IP アドレスとポート番号を持つ I/O ユニットは登録できません。[必須] | 192.168.100.10 |
| 4 | ポート番号 I/O ユニットのポート番号を入力します。[必須: 1-65535] | 50001(初期値) |
| 5 | 保存ボタン 入力した情報で I/O ユニットを登録します。 入力に不備がある場合は、各項目の下にエラー内容が表示され登録されません。内容を確認の上、修正後に再度保存してください。登録完了時、I/O ユニットの登録数が 16 台になるまでは、ダイアログは閉じることなく表示され続けます。 その際、7 の状態に応じて、1,2,3,4 の項目が初期化されます。 | - |
| 6 | 閉じるボタン クリックするとダイアログが閉じます。その際、保存されていない情報は全て破棄されます。 | - |
| 7 | 保存後も入力情報を残す 保存ボタンにより、受信機が登録された際に 1,2,3,4 の各項目を初期化するかどうかを決めるチェックボックスです。ON になっている場合は、1,2,3,4 の各項目が保存完了後も引き継がれます。 | ON(初期値) |

WCL plus は登録された I/O ユニットに対して自動で接続を試みます。接続が完了したかどうかは、「I/O ユニット一覧」画面で確認してください。

3-21. I/O ユニット情報の編集

登録済みのI/Oユニットの情報を編集する場合は、I/Oユニット一覧画面の「編集」ボタンをクリックします。
編集したいI/Oユニット情報が表示されている行の「編集」ボタンをクリックしてください。
「編集」ボタンをクリックするとI/Oユニット情報編集ダイアログが表示されます。
必要な項目を編集の上、「保存」ボタンをクリックしてください。

I/Oユニット一覧

新規登録

| | 編集 | 複写 | 状態 |
|--------------------------|----|----|----|
| <input type="checkbox"/> | | | |
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 複写 | 状態 |
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 複写 | 状態 |
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 複写 | 状態 |
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 複写 | 状態 |

編集

I/Oユニット名
エンジン組立ラインA

I/Oユニットタイプ
WCL-232-EXL

IPアドレス
192.168.251.203

ポート番号
50001

保存 閉じる

I/Oユニット情報編集ダイアログは、保存完了時に自動的に閉じられます。

3-22. I/O ユニット情報の複写

登録済みのI/Oユニットの情報を元に新規登録する場合は、I/Oユニット一覧画面の「複写」ボタンをクリックします。
複写したいI/Oユニット情報が表示されている行の「複写」ボタンをクリックしてください。
各項目に複写元の情報が入力された状態で、I/Oユニット登録ダイアログが表示されます。
新規登録と同様に、必要な項目の入力・編集を行い「保存」ボタンをクリックしてください。

I/Oユニット一覧

新規登録

| | 編集 | 複写 | 状態 |
|--------------------------|----|----|----|
| <input type="checkbox"/> | | | |
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 複写 | 状態 |
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 複写 | 状態 |
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 複写 | 状態 |
| <input type="checkbox"/> | 編集 | 複写 | 状態 |

新規登録

I/Oユニット名
エンジン組立ラインA

I/Oユニットタイプ
WCL-232-EXL

IPアドレス
192.168.251.203

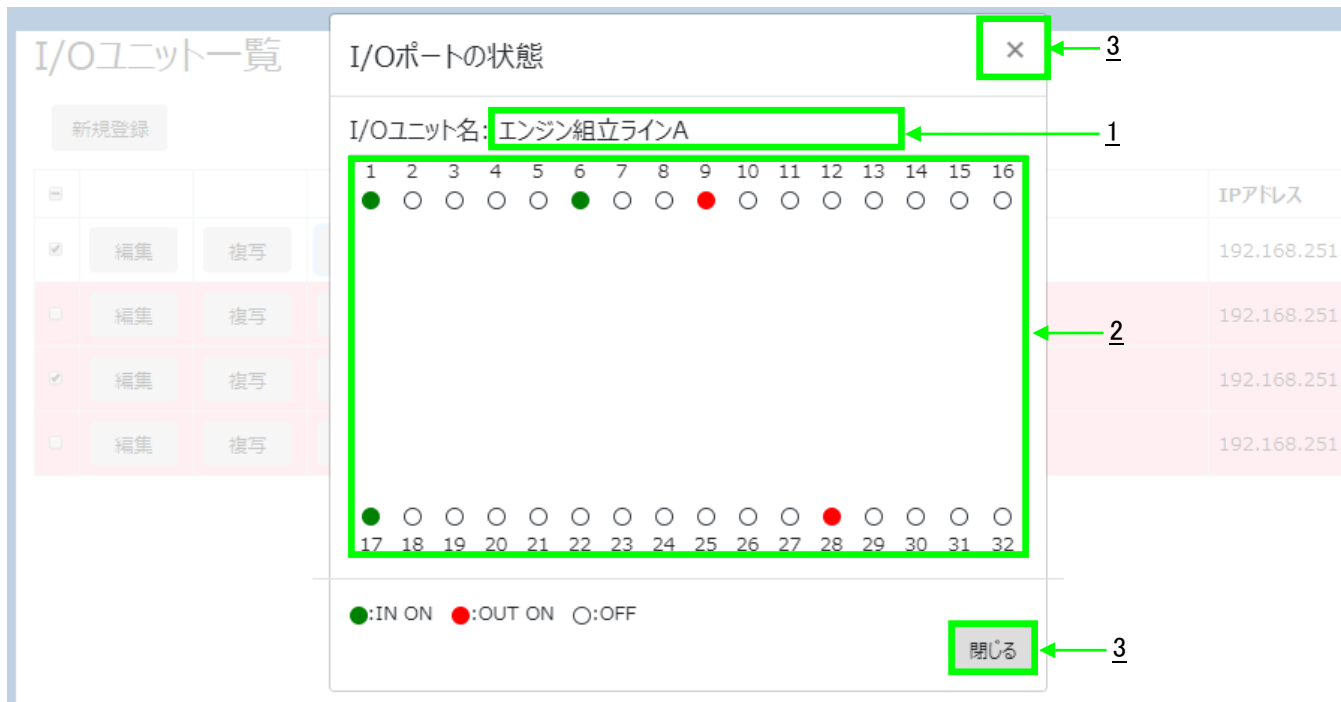
ポート番号
50001

保存 閉じる

保存後も入力情報を残す

3-23. I/O ポートの状態の確認

I/O ユニットの I/O ポートの状態を確認する場合は、I/O ユニット一覧画面の「状態」ボタンをクリックします。状態を確認したい I/O ユニット情報が表示されている行の「状態」ボタンをクリックしてください。「状態」ボタンをクリックすると I/O ポート状態確認ダイアログが表示されます。

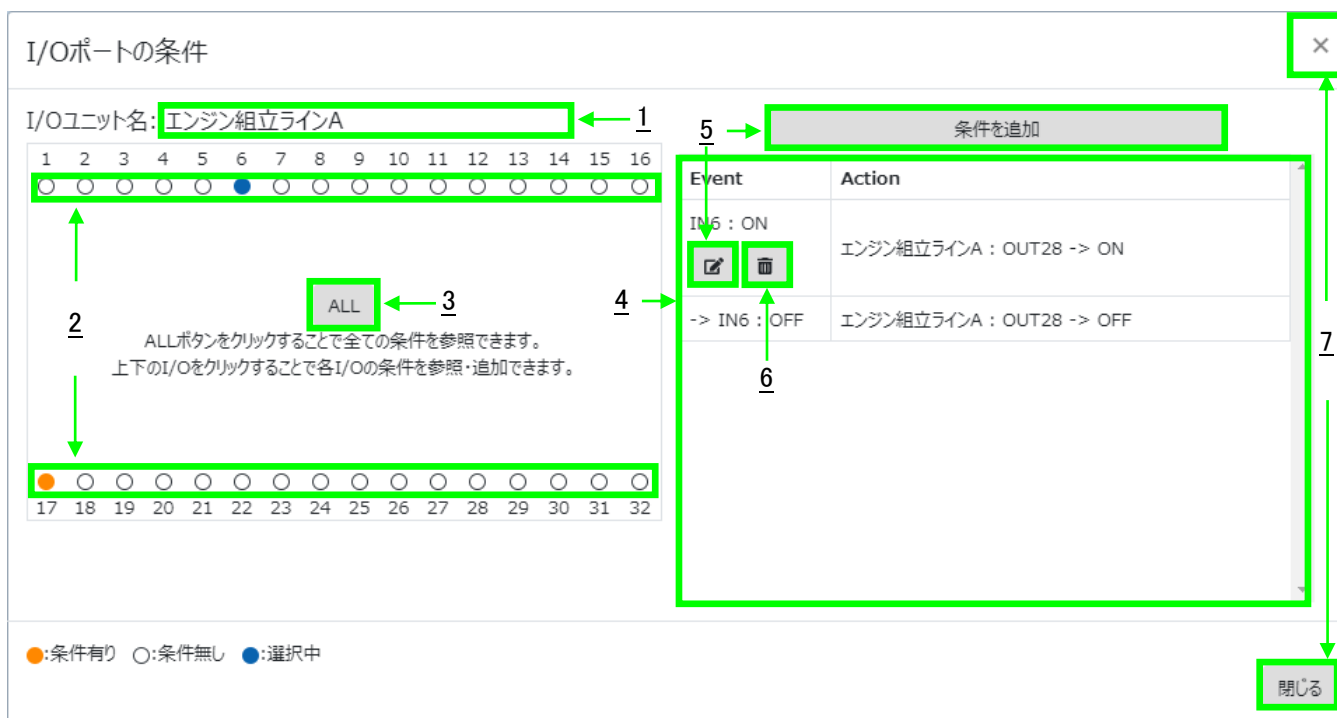


| 項目 | 内容 |
|----|---|
| 1 | I/O ユニット名 状態を表示している I/O ユニット名です。 |
| 2 | I/O ポートの状態 各 I/O ポートの状態が表示されます。 表示は約 2 秒ごとに更新されるため、I/O ポートの状態が変化してから画面上の表示に反映されるまで時間が掛かる場合がありますが、実機での動作は即時行なわれています。 |
| 3 | 閉じるボタン クリックするとダイアログが閉じます。 |

3-24. I/O ユニットの条件表示


WCL plus での I/O ユニットの条件を表示・設定する場合は、I/O ユニット一覧画面の「条件」ボタンをクリックします。条件を表示・設定したい I/O ユニット情報が表示されている行の「条件」ボタンをクリックしてください。「条件」ボタンをクリックすると I/O ユニット条件表示ダイアログが表示されます。条件の追加・編集・削除はこのダイアログから行います。

* WCL plus では I/O ユニットの動作を設定する際に、「条件」、「イベント」、「アクション」という単位で設定します。「条件」は 2 つの「イベント」をひとまとめにしたものであり、各ポートに最大 1 つだけ割り当てられます。「イベント」は「アクション」を実行するトリガです。WCL plus では、「I/O ポートが OFF から ON になったとき」、「I/O ポートが ON から OFF になったとき」の 2 種類が存在し、「条件」を追加した時点で自動的に設定されます。「アクション」は具体的な処理です。「I/O ポートを ON にする」、「I/O ポートを OFF にする」、「双方向シルウォッチで呼び出す」の 3 種類が存在します。「イベント」に対して、複数の「アクション」の設定が可能で、1 つの「条件」には最大 16「アクション」まで設定可能です。



| 項目 | 内容 |
|----|---|
| 1 | I/O ユニット名 条件の設定状況を表示している I/O ユニット名です。 |
| 2 | I/O ポートの条件設定状況、条件設定対象選択 各 I/O ポートの動作条件の設定状態が I/O ポート毎に背景色で表示されます。動作条件を設定したい I/O ポートを選択します。I/O ポートを選択すると、4 に設定されている全ての動作条件が表示されます。 |
| 3 | 全 I/O ポートに設定されている条件の内容を表示 このボタンをクリックすると、全ての I/O ポートが選択されているのと同義となり、4 に I/O ポート 1-32 に設定された全ての条件の内容が表示されます。 |
| 4 | 条件の内容を表示 選択されている I/O ポートの条件の内容(イベントとアクション)を表示します。 |
| 5 | 条件の新規追加・編集 選択されている I/O ポートの条件を新規追加、または、編集する際に使用するボタンです。クリックすると I/O ユニット条件設定ダイアログが表示されます。詳細は、 3-25. I/O ユニットの条件新規追加・編集 を参照してください。 |
| 6 | 条件の削除 選択されている I/O ポートの条件を削除する際に使用するボタンです。クリックすると I/O ユニット条件削除ダイアログが表示されます。 |
| 7 | 閉じるボタン クリックするとダイアログが閉じます。 |

3-25. I/O ユニットの条件新規追加・編集

WCL plus での I/O ユニットの条件を新規追加・編集する場合は、I/O ユニット条件表示ダイアログの「条件を追加」ボタン、または、 ボタン、条件を新規追加・編集したい I/O ポートを選択している状態でクリックします。ボタンをクリックすると I/O ユニット条件設定ダイアログが表示されます。



| 項目 | 内容 |
|----|--|
| 1 | イベント 1 条件に自動設定される 1 つめのイベントです。 「どの I/O ユニット」の「どの I/O ポート」が「どうなったとき」という内容が表示されます。上の図の例では、「エンジン組立ライン A」という名前の I/O ユニットの「I/O ポート 6(入力)」が「OFF から ON」になったときに 2 で設定したアクションを実行します。 |
| 2 | イベント 1 発生時に実行するアクション 1 のイベントが発生したときに実行されるアクションです。上の図の例では、2 つのアクションが設定されており、「エンジン組立ライン A」という名前の I/O ユニットの「I/O ポート 28(出力)」を ON にする」というアクションと、「双方向シルウォッチにより MID が「1024」、メッセージが「工程 B 問題発生！」という内容で呼び出す」という 2 つのアクションが順次実行されます。 |
| 3 | イベント 2 条件に自動設定される 2 つめのイベントです。1 のイベントの対となるイベントが自動設定されます。 |
| 4 | イベント 2 発生時に実行するアクション 3 のイベントが発生したときに実行されるアクションです。 |
| 5 | アクション追加ボタン アクションを追加する際に使用するボタンです。クリックすると、クリックしたボタンの下にアクションが 1 つ追加されます。条件に存在するアクションが合計 16 件になると無効になり、追加できなくなります。 |
| 6 | アクション削除ボタン アクションを削除する際に使用するボタンです。クリックすると、クリックしたボタンの行のアクションが削除されます。イベントに属するアクションが 1 つだけになると無効になり、削除できなくなります。 |
| 7 | 保存ボタン 設定した情報で条件を保存します。 入力に不備がある場合は、このボタンの上の領域にエラー内容が表示され保存されません。内容を確認の上、修正後に再度保存してください。 |
| 8 | 閉じるボタン クリックするとダイアログが閉じます。その際、保存されていない情報は全て破棄されます。 |

アクションの設定は、各イベントに対応するアクションの領域に表示されているコンボボックスをクリックして、実行したいものを選択します。コンボボックスをクリックすると、実行可能なアクションが表示されます。

| イベント名 | I/Oポート | アクション | 操作 |
|------------|--------|-----------|-----|
| エンジン組立ラインA | IN1 | OFF -> ON | + - |
| エンジン組立ラインA | IN1 | ON -> OFF | + - |
| エンジン組立ラインB | | | + - |
| 加工機A | | | |
| 加工機B | | | |

設定可能なアクションの一覧

| アクション | 内容 | 追加設定項目 |
|-----------|---|--|
| 何もしない | イベントが発生しても何もしません。 I/Oポートが「ONからOFFになったとき」だけアクションを実行したい場合などに使用します。 | なし |
| 双方向シルウォッチ | 双方向シルウォッチ腕時計型送受信器に対して呼び出しを行います。基本設定画面で「双方向シルウォッチ呼び出し」を「有効」にしたうえで、接続ポートの設定が正しく行われている必要があります。 | MID[メッセージID 必須、入力式] *1 メッセージ[入力式、最大20文字(全角半角不問)] *2 |
| I/Oポートの操作 | 指定のI/Oユニットの出力I/Oポートを操作します。コンボボックスに登録済みのI/Oユニット名が表示されるので、操作したいものを選択してください。 | 操作対象の出力I/Oポート(必須、選択式) 操作内容[必須、選択式(ON, OFF)] |


*1 MID は呼び出しをしたい双方向シルウォッチ腕時計型送受信器に設定済のものを入力してください。

双方向シルウォッチ腕時計型送受信器の設定の確認、変更に関しては、

双方向 Silwatch 設定アプリケーション(別売)をご利用いただくか、弊社営業部までお問い合わせください。

*2 双方向シルウォッチ腕時計型送受信器が一度に表示できるメッセージは、半角20文字、全角10文字までです。これを超えた場合、メッセージは先頭から表示可能な部分のみが表示されます。

3-26. I/O ユニットの条件削除

登録済みの条件を削除する場合は、I/O ユニット条件表示ダイアログの  ボタンをクリックします。

ボタンをクリックすると、I/O ユニット条件削除ダイアログが表示されます。



| | 項目 | 内容 | 入力例 |
|---|----------|---------------------------------|-----|
| 1 | メッセージ | データを削除する旨のメッセージ表示します。 | - |
| 2 | OK ボタン | クリックすると条件を削除します。 | - |
| 3 | キャンセルボタン | クリックするとダイアログが閉じます。条件の削除は行われません。 | - |

3-27. I/O ユニットの削除

登録済みの I/O ユニットの削除する場合は、I/O ユニット一覧画面の「対象を削除」ボタンをクリックします。

「対象を削除」ボタンは初期状態では無効となっている為、登録済み I/O ユニット一覧から削除したい I/O ユニットの行のチェックボックスを ON にしてください。「対象を削除」ボタンが有効となります。

「対象を削除」ボタンをクリックすると、I/O ユニット削除ダイアログが表示されます。



| | 項目 | 内容 | 入力例 |
|---|----------|---------------------------------------|-----|
| 1 | 削除件数表示 | 削除する I/O ユニットの数をメッセージ表示します。 | - |
| 2 | OK ボタン | クリックすると I/O ユニットの削除します。 | - |
| 3 | キャンセルボタン | クリックするとダイアログが閉じます。I/O ユニットの削除は行われません。 | - |

WCL plus は登録された I/O ユニットの削除すると、その I/O ユニットとの接続も切断します。

また、削除された I/O ユニットに設定されていた条件も全て削除されます。

3-28. 呼び出しグループ一覧画面

呼び出しグループの状態を一覧で表示します。呼び出しグループの設定変更もこの画面から行います。

呼び出しグループは、WCL plus における受信機(とその受信機に対応する送信機)の管理単位です。

呼び出し状況の確認や、呼び出し発生時における双方向シルウォッチ呼び出しを行うかを、呼び出しグループ単位で設定します。

受信機の CH 毎に 1 つずつ存在し CH01-CH10 の計 10 グループが登録されています。



受信機に設定した CH に対応する呼び出しグループの設定を行ってください。

例: 受信機が 1CH になっている場合、対応する呼び出しグループは「CH01」となります。

* 呼び出しグループ「CH01」に対応する送信機は CH が 1CH、かつ、KIKI/ID が 1-8 のものとなります。

KIKI/ID が 0、または、9 の場合は呼び出しグループに対応する呼び出しとしては扱われません(履歴は残ります)

呼び出しグループ一覧

| | グループ名 | 閲覧 | URL |
|----|-------|----|---|
| 設定 | CH01 | 有効 |  http://192.168.251.32:50001/view?id=0&token=685D2662B154C205FBD3AB7063CB1B896E3CF2744B81BF7136A9BCC812D93618 |
| 設定 | CH02 | 有効 |  http://192.168.251.32:50001/view?id=1&token=685D2662B154C205FBD3AB7063CB1B896E3CF2744B81BF7136A9BCC812D93617 |
| 設定 | CH03 | 無効 | |
| 設定 | CH04 | 無効 | |
| 設定 | CH05 | 無効 | |
| 設定 | CH06 | 無効 | |
| 設定 | CH07 | 無効 | |
| 設定 | CH08 | 無効 | |
| 設定 | CH09 | 無効 | |
| 設定 | CH10 | 無効 | |

1 2 3 4

| 項目 | 内容 |
|----|--|
| 1 | 呼び出しグループ一覧 呼び出しグループを一覧で表示します。 1 行が 1 呼び出しグループ(CH)に対応し、グループ名、閲覧の有効無効、呼び出し状況確認画面 URL とコピーボタンが表示されます。 各行の背景色は閲覧が有効かどうかを表し、背景色が白色場合は閲覧有効、灰色の場合は無効を表します。 |
| 2 | 呼び出しグループ設定ボタン 呼び出しグループの設定を変更する際に使用するボタンです。 クリックすると呼び出しグループ設定ダイアログが表示されます。 詳細は、 3-29. 呼び出しグループ設定 を参照してください。 |
| 3 | 呼び出し状況確認画面 URL コピーボタン クリックすると、クリックした行の呼び出しグループの呼び出し状況確認画面の URL がクリップボードにコピーされます。 呼び出しグループの設定で「閲覧」が「有効」でない場合は表示されません。 |
| 4 | 呼び出し状況確認画面 URL クリックすると、クリックした行の呼び出しグループの呼び出し状況確認画面が別のタブ、もしくは、ウィンドウで表示されます。 呼び出しグループの設定で「閲覧」が「有効」でない場合は「-」となり表示されません。 |

3-29. 呼び出しグループ設定

呼び出しグループの設定を変更する場合は、呼び出しグループ一覧画面の「設定」ボタンをクリックします。


編集したい呼び出しグループが表示されている行の「設定」ボタンをクリックしてください。

「設定」ボタンをクリックすると呼び出しグループ設定ダイアログが表示されます。


グループ設定


グループ名: 1 → CH01


閲覧: 2 → 有効 無効

URL: 3 → http://192.168.251.32:50001/view?id=0&token=685D2 4 → 

メロディ: 5 → 有効 無効

オレンジ点灯時: 6 → Preset1.mp3 9 → 

赤点灯時: 7 → Preset2.mp3 

緑点灯時: 8 → Preset3.mp3 

再生時間: 10 → 連続 秒

優先順位(優先: 高-低): 11 → オレンジ - 赤 - 緑

双方向シルウォッチ呼び出し: 12 → 有効 無効

13 → 保存

| 項目 | 内容 | 入力例 |
|--------------------------------|---|---------|
| <u>1</u> 呼び出しグループ名 | 設定を行っている呼び出しグループ名です。 変更することはできません。 | - |
| <u>2</u> 閲覧 | 呼び出し状況の閲覧を有効にするか無効にするかを選択します。呼び出し状況を確認したい場合は「有効」にしてください。 有効にすると、 <u>3-11</u> の各項目が表示されます。 | 無効(初期値) |
| <u>3</u> 呼び出し状況確認画面 URL | 設定中の呼び出しグループの呼び出し状況閲覧画面にアクセスするための URL です。「閲覧」が「有効」な状態でダイアログを開いたときにのみ有効な URL が表示されます。 | - |
| <u>4</u> 呼び出し状況確認画面 URL コピーボタン | クリックすると、 <u>3</u> の URL がクリップボードにコピーされます。 呼び出しグループの設定で「閲覧」が「有効」でない場合は表示されません。 | - |
| <u>5</u> メロディ再生有効無効 | 呼び出し状況確認画面でメロディの再生を有効にするか無効にするかを選択します。呼び出し状況確認画面で窓の色の表示だけでなく、メロディによる通知をしたい場合は「有効」にしてください。 有効にすると、 <u>6-11</u> の各項目が表示されます。 | 無効(初期値) |
| <u>6</u> オレンジ点灯時のメロディ | 呼び出し状況確認画面で、オレンジ色の窓が表示されているときに再生するメロディを選択します。 空になっている場合は、再生されません。 | 空(初期値) |
| <u>7</u> 赤点灯時のメロディ | 呼び出し状況確認画面で、赤色の窓が表示されているときに再生するメロディを選択します。 空になっている場合は、再生されません。 | 空(初期値) |

| | | | |
|----|---------------|---|-------------------|
| 8 | 緑点灯時のメロディ | 呼び出し状況確認画面で、緑色の窓が表示されているときに再生するメロディを選択します。 空になっている場合は、再生されません。 | 空(初期値) |
| 9 | メロディの視聴ボタン | 6-8 で選択されているメロディを視聴する際に使用するボタンです。同じ行で選択されているメロディが1回(最初から最後まで)再生されます。既に再生されている場合は、再生されているメロディを停止後に再生を開始します。 | - |
| 10 | 再生時間 | メロディの再生時間を選択します。「連続」が選択されている場合は、メロディを最初から最後まで再生条件が解除されない限り、無限に再生し続けます。数値が選択されている場合は、メロディの先頭から選択されている秒数を1度だけ再生します。 「連続」が選択されている場合、11 が有効になり選択可能となります。 [選択肢: 連続, 5, 10, 15, 20, 25, 30] | 連続(初期値) |
| 11 | 優先順位 | 呼び出し状況確認画面で、複数の色の窓が同時に表示されている場合、どの色に設定されているメロディを優先して再生するかを選択します。この設定値は 10 が「連続」の場合のみ機能します。 [選択肢: オレンジ - 赤 - 緑、オレンジ - 緑 - 赤、 赤 - オレンジ - 緑、赤 - 緑 - オレンジ、 緑 - オレンジ - 赤、緑 - 赤 - オレンジ] | オレンジ - 赤 - 緑(初期値) |
| 12 | 双方向シルウォッチ呼び出し | 設定中の呼び出しグループに属する呼び出しが発生したとき、既定のメッセージによる双方向シルウォッチ呼び出しを有効にするか無効にするかを選択します。この設定を「有効」にしても、基本設定で双方向シルウォッチ呼び出しが「有効」になっていない場合、呼び出しは行われません。 | 無効(初期値) |
| 13 | 保存ボタン | 設定を保存します。設定が保存されると、呼び出しグループ設定ダイアログは自動で閉じられます。 | - |

* 呼び出し状況確認画面を開いている状態でメロディの有効無効(5)、メロディ(6-8)、再生時間(10)、優先順位(11)を変更した場合、ブラウザを再読み込みするまでは変更前の設定でメロディ再生を行います。メロディ再生のルールに関しては[3-30. 呼び出し状況確認画面](#)を参照してください。

■カスタムメロディの再生設定

以下のような音源ファイルを所定の場所に配置することで、呼び出し発生時に任意のメロディを再生することが可能です。

対応するファイル形式(拡張子): wav, mp3

ファイルサイズ上限: 1.5MB

ファイルの配置場所: C:\HERUTU\WCL plus\melody\

ファイル配置後、呼び出しグループ一覧画面を再読み込みしてください。その後、メロディを設定したい呼び出しグループの設定ボタンをクリックして、オレンジ点灯時、赤点灯時、緑点灯時のメロディを選択してください。上記の音源ファイルの条件に合致するファイル名が選択肢として表示されます。

■ 双方向シルウォッチ呼び出し

呼び出しグループの双方向シルウォッチ呼び出し、基本設定の双方向シルウォッチ呼び出しの両方が有効になっている状態で、その呼び出しグループの呼び出しが発生した場合、WCL plus は以下のルールで双方向シルウォッチ腕時計型送受信器に対して呼び出しを行います。

- ・MID は送信機の SET の値と押されたボタン(外部入力)の組み合わせにより決定します。
 - SET が 0 の時、オレンジ(外部入力 1)、赤(外部入力 2)、緑(外部入力 3)による呼び出しが発生場合、MID はそれぞれ、1024、1026、1028 で呼び出しを行います。
 - 以降、SET の値が 1 増える度に、それぞれの MID に 6 を足した値で呼び出しを行います。
例: SET が 1 の場合、MID はそれぞれ、1030、1032、1034 となります。
 - ・メッセージは、CH/SET/UNIT/ID を結合した文字と押されたボタン(外部入力)の色を方向シルウォッチ腕時計型送受信器の上段と下段にそれぞれ表示するように呼び出しを行います。
押されたボタン(外部入力)の色に対応する文字は以下の通りです。
オレンジの場合: Orange
赤の場合: Red
緑の場合: Green
例: CH/SET/UNIT/ID が 1/2/3/4 の送信機の赤いボタン(2)が押された場合、双方向シルウォッチ腕時計型送受信器には、上段に 1234、下段に red と表示されます。
 - ・同じ内容の双方向シルウォッチ呼び出しが既にメモリされている(呼び出し待ちの場合)は、追加でメモリは行いません
 - ・ある送信機による呼び出しにより双方向シルウォッチ呼び出しがメモリ(呼び出し待ち)されている状態で、同じ送信機から呼び出しのクリアが発生した場合、その送信機によって発生したメモリされている双方向シルウォッチ呼び出しは行わず破棄されます
- * 双方向シルウォッチ腕時計型送受信器に表示するメッセージを任意のものに変更することが可能です(オプション)
詳しくは弊社営業部までお問合せください。

3-30. 呼び出し状況確認画面

呼び出しグループの呼び出し状況を窓の色と、メロディで現在発生している呼び出し表示します

呼び出しグループごと独立しており、ブラウザのウィンドウを複数表示することで、複数の呼び出しグループの呼び出し状況を1画面で確認することができます。

この画面を表示するには、呼び出しグループ設定の「閲覧」を「有効」にして、表示されたURLにアクセスする必要があります。なお、Webブラウザを閉じたとしても、サービスを終了しない限り、呼び出し状況はクリアされることなく維持されます。



| | 項目 | 内容 |
|---|----------------|---|
| 1 | 機種名/番号切替 | 2と3の表示を入れ替えるスイッチです。クリックするたびにON/OFFが切り替わります。呼び出し番号を大きく表示したい場合はOFFにしてください。この設定は、Webブラウザに保存され、次に呼び出し状況確認画面を開いた際には自動的に選択されます。 |
| 2 | 呼び出しグループ内の呼び出し | 呼び出しグループ内の呼び出しを呼び出し発生順に最大10件表示します。呼び出しが発生するたびに、左上から右上、左下から右下という順番で表示されます。呼び出しがクリアされた場合(送信機の4番(白い)ボタン、または、4番の外部入力)、該当する呼び出しは非表示となり、クリアされた呼び出し以降に発生した呼び出しを詰めて表示します。 既に呼び出しが発生している状態で、同じ送信機から別の呼び出しが発生した場合、表示場所の移動は行われず、6だけが0秒にリセットされます。 10件を超えた場合、右下10件目が表示されていた個所の窓の表示がグレー背景となり、非表示となっている呼び出し件数が大きく表示されます。 |
| 3 | 呼び出し | 1つの送信機からの呼び出しを1つの四角形の窓で表します。背景色は、送信機のボタン(または、外部入力)のどれが押された(入力された)かを表します。 |
| 4 | 呼び出し番号 | 呼び出しを行った送信機のCH/SET/UNIT/IDを繋げた値です。 例えば、CH/SET/UNIT/IDが2/1/2/5の場合、呼び出し番号は、2125となります。呼び出しを行った送信機を特定するのに役立ちます。 |
| 5 | 送信機名 | 呼び出し番号(CH/SET/UNIT/ID)に対応する送信機名を表示します。送信機名の登録は管理画面の「送信機一覧画面」から行ってください。表示可能な送信機名は最長で先頭から5文字です。登録されていない場合は-となります。 |
| 6 | 呼び出し発生からの経過時間 | 呼び出しが発生してから経過時間を表示します。最小表示単位は秒で、時間経過により、分、時間、日と表示が増えていきます。例: 1日1時間1分1秒 |

■メロディ再生のルール

呼び出しグループ設定で、メロディの再生を「有効」にし、オレンジ、赤、緑点灯時のメロディが選択されている場合、呼び出しが発生するたびにメロディの再生が行われます。

複数の呼び出しが発生し、複数の色の窓が表示された場合、呼び出しグループ設定の「再生時間」と「優先順位」に応じて再生されるメロディが決定されます。

・再生時間が「連続」の場合

呼び出しグループ設定の「優先順位」に応じて、最も優先度が高く設定されている色のメロディがグループ再生されます。

10件以上の呼び出しが発生している場合、**表示されているオレンジ、赤、緑の窓のうち最も優先度が高く設定されている色のメロディが再生されます**(1-9 件目呼び出しのみが考慮されます)。

・再生時間が「連続」以外の場合

表示されているオレンジ、赤、緑の窓のうち、最も新しい呼び出しの色のメロディが先頭から指定時間、1度だけ再生されます。「優先順位」は考慮されません。

なお、メロディ再生中に全ての呼び出しがクリアされた場合、メロディの再生は停止されます。

■Web ブラウザの設定によるメロディ再生のブロック

メロディの再生を「有効」にしているにもかかわらず、呼び出しが発生してもメロディが再生されない場合、

Web ブラウザの設定によりメロディ再生が行われなようにブロックされている可能性があります。

Web ブラウザ側の設定を変更してメロディ再生が行なわれるようにしてください。

設定方法の例(Web ブラウザのバージョンによって細部が異なる可能性があります)

1. Web ブラウザの設定画面を開きます。
2. 「プライバシーとセキュリティ」から「サイトの設定」をクリックします。
3. 「コンテンツ」の「音声」をクリックします。
4. 音声の再生を許可するサイトに、呼び出しグループ閲覧画面の URL を追加します。
5. 呼び出しグループ閲覧画面を表示し、メロディが再生されることを確認します(既に表示されている場合は更新します)

■呼び出し状況確認画面の URL の変更

呼び出し状況確認画面はログインする必要はなく、URL さえ知っていれば誰でも表示することができます。意図しない相手に URL を知られてしまった場合は次の手順を行うことで URL を変更し、以前の URL を無効にすることができます。

URL 変更完了後、必要な方に変更された URL を通知してください。

1. WCL plus にログインします。
2. グループ一覧を開きます。
3. URL を変更したい呼び出しグループの「設定」ボタンをクリックします。
4. 「閲覧」を「無効」にして、「保存」ボタンをクリックします。
5. 再度、URL を変更したい呼び出しグループの「設定」ボタンをクリックします。
6. 「閲覧」を「有効」にして、「保存」ボタンをクリックします。
7. 古い呼び出し状況確認画面の URL を Web ブラウザで開いて、呼び出し状況が表示されないことを確認します。
8. 設定を変更した呼び出しグループの URL をクリックして、呼び出し状況が表示されることを確認します。

3-31. 製品情報画面

アプリケーションのバージョン情報等が表示されます。

3-32. 履歴データ

履歴には、送信機からの呼び出しに関するデータが 2 種類、I/O ユニットに関するデータが 1 種類の計 3 種類のデータがあります。

○送信機からの呼び出し

- ・送信されたそのままのデータ(以降、生データ)
- ・状態発生から解除までに掛かった時間が分かるように加工したデータ(以降、加工データ)

*送信機からの呼び出し履歴データは、受信機の CH 設定に関係なく保存されます。

○I/O ユニット

- ・I/O ユニットの I/O ポートの状態が変化したときの各 I/O ポートのデータ(以降、I/O ユニットデータ)

■生データ

送信機から送信されたそのままのデータです。

出力先フォルダ : C:\¥HERUTU¥WCL plus¥log
ファイル名 : raw_yyyyMMdd.csv (y:西暦, M:月, d:日)
文字エンコーディング : UTF-8(Byte order mark あり)

CSV ファイルは日付単位で出力されます。WCL plus が稼働中に日付が変わった場合、自動的に新たなファイルを作成し出力を行います。

CSV ファイルに出力される情報

項目を示すヘッダ行は存在しません。(履歴データが 1 行目から始まります。)

データは以下の順で並んでいます。

| 項目 | 内容 | 例: |
|-----------|--|------------|
| 受信日 | データ受信日 | 2018/05/01 |
| 受信時刻 | データ受信時刻 | 12:00:00 |
| 型式 | 受信機の型式 | WCL-426R |
| シリアル番号 | 受信機のシリアル番号 | A00001 |
| CH | チャンネル設定値(00 ~ 16) | 01 |
| SET | 送信機の SET 番号設定値(0 ~ 9) | 1 |
| UNIT | 送信機の UNIT 番号設定値(0 ~ 9) | 1 |
| KIKI/ID | 送信機の KIKI/ID 番号設定値(0 ~ 9) | 1 |
| 押しボタン 1 | 送信機の押しボタン 1 の入力値(0 or 1) | 1 |
| 押しボタン 2 | 送信機の押しボタン 2 の入力値(0 or 1) | 0 |
| 押しボタン 3 | 送信機の押しボタン 3 の入力値(0 or 1) | 0 |
| 押しボタン 4 | 送信機の押しボタン 4 の入力値(0 or 1) | 0 |
| 外部入力 1 | 送信機の外部入力 1 の入力値(0 or 1) | 0 |
| 外部入力 2 | 送信機の外部入力 2 の入力値(0 or 1) | 0 |
| 外部入力 3 | 送信機の外部入力 3 の入力値(0 or 1) | 0 |
| 外部入力 4 | 送信機の外部入力 4 の入力値(0 or 1) | 0 |
| 通信タイプ(*1) | 通信タイプ(0 or 5 or 6) 0: 未定義 or 5: 通常送信 or 6: イベント送信 | 5 |

「送信機の押しボタン 1~4」および「送信機の外部入力 1~4」の入力値の「1」は「入力あり」を意味します。

(*1)通信タイプ

AN426T II の場合、送信機の「機器情報設定用スイッチ」のモード設定(MODE)のディップスイッチ”2”で設定します。
(ON:通常送信 / OFF:イベント送信)
AN920T の場合、未使用項目であるため必ず「0:未定義」になります。

例: 2018/05/01 12:00:00 に送信機(CH:01、SET:2、UNIT:3、KIKI:4、通常送信)の押しボタン 1 の入力信号を、受信機(型式:WCL-426R、シリアル番号:A00001)が受信した場合

ファイル名 : raw_20180501.csv
履歴データ : 2018/05/01,12:00:00,WCL-426R,A00001,01,2,3,4,1,0,0,0,0,0,0,5

■加工データ

状態発生から解除までに掛かった時間が分かるように加工したデータです。

出力先フォルダ : C:\¥HERUTU¥WCL plus¥log
ファイル名 : call_yyyyMMdd.csv (y:西暦, M:月, d:日)
文字エンコーディング : UTF-8(Byte order mark あり)

履歴データ集計のルール

1. 「押しボタン 1」が押された後に「押しボタン 4」が押された
→「押しボタン 1」の状態解除(何も発生していない状態に戻る)
「押しボタン 1」の状態の発生から解除までの履歴データが出力されます。
2. 「押しボタン 1」が押された後に「押しボタン 2」が押された
→「押しボタン 1」の状態が解除され、「押しボタン 2」の状態が発生している
「押しボタン 1」の状態の発生から解除までの履歴データが出力されます。「押しボタン 2」以外のボタンが押されるまで「押しボタン 2」の履歴データは出力されません。
3. 「押しボタン 1」が押されてから再度「押しボタン 1」が押された
→「押しボタン 1」の状態が発生したまま変化無しのため、「押しボタン 1」の履歴データは出力されません。
4. 何も発生していない状態から「押しボタン 4」が押された
→「押しボタン 4」は状態解除に使用するため、状態に変化無し

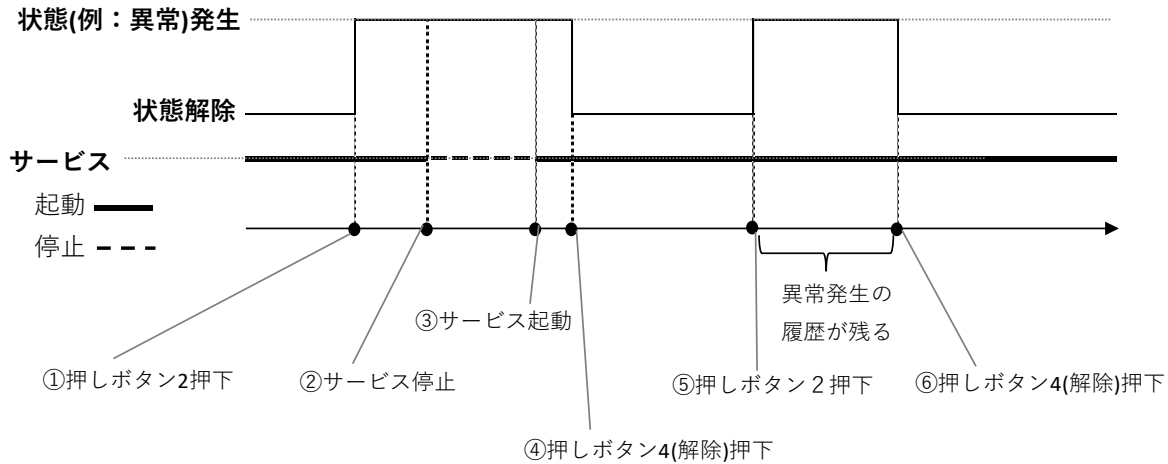
CSV ファイルは日付単位で出力されます。WCL plus が稼働中に日付が変わった場合、自動的に新たなファイルを作成し出力を行います。

状態発生から解除までの間に日付が変わる場合は、状態解除日の日付の CSV ファイルにデータ出力されます。

状態発生から解除までの間にサービスを停止すると、その状態は破棄されます。(履歴データにも残りません。)

例)

送信機の押しボタン 2 を押し(①)、異常発生の呼び出し中にサービスを停止すると(②)、「異常発生」という状態は破棄されます。異常発生中にサービスを起動した場合(③)、押しボタン 4 を押して状態を解除しても、履歴は残りません。サービス起動中の状態の発生/解除は履歴が残ります(⑤、⑥)。



CSV ファイルに出力される情報

項目を示すヘッダ行は存在しません。(履歴データが 1 行目から始まります。)

データは以下の順で並んでいます。

| 項目 | 内容 | 例: |
|-----------|--|------------|
| 送信機名 | 送信機設定ファイルで設定された送信機名(*1) | ユニット組立 A |
| 型式 | 受信機の型式 | WCL-426R |
| シリアル番号 | 受信機のシリアル番号 | A00001 |
| CH | チャンネル設定値(00 ~ 16) | 01 |
| SET | 送信機の SET 番号設定値(0 ~ 9) | 1 |
| UNIT | 送信機の UNIT 番号設定値(0 ~ 9) | 1 |
| KIKI/ID | 送信機の KIKI/ID 番号設定値(0 ~ 9) | 1 |
| 通信タイプ(*2) | 通信タイプ(0 or 5 or 6) 0: 未定義 or 5: 通常送信 or 6: イベント送信 | 5 |
| 状態 | 送信機設定ファイルで設定された状態名(*3) | 部品切れ |
| 状態発生日 | 状態が発生した日付 | 2018/04/28 |
| 状態発生時刻 | 状態が発生した時刻 | 15:00:00 |
| 状態解除日 | 状態が解除された日付 | 2018/04/28 |
| 状態解除時刻 | 状態が解除された時刻 | 15:15:00 |
| 状態維持時間 | 状態が発生から解除までの経過時間(*4) | 00:15:00 |

(*1)送信機登録が行われていない場合は「-」になります。

(*2)通信タイプ

AN426T II の場合、送信機の「機器情報設定用スイッチ」のモード設定(MODE)のディップスイッチ”2”で設定します。

(ON: 通常送信 / OFF: イベント送信)

AN920T の場合、未使用項目であるため必ず「0: 未定義」になります。

(*3)送信機登録が行われていない場合は送信機のボタン、または、外部入力によって既定の文字列が入ります。

ボタン 1(オレンジ): KEY1

ボタン 2(赤): KEY2

ボタン 3(緑): KEY3

外部入力 1: TERMINAL1

外部入力 2: TERMINAL2

外部入力 3: TERMINAL3

(*4)経過時間が 1,000 時間の場合、「1000:00:00」となります。時間の上限はありません。

例:2018/05/01 12:00:00 に送信機(CH:01、SET:2、UNIT:3、KIKI:4、通常送信)の押しボタン 1 の入力信号を、受信機(型式:WCL-426R、シリアル番号:A00001)が受信した後、1 分後に同じ送信機の押しボタン 4 の入力信号を受信した場合

(送信機登録未実施)

ファイル名 : call_20180501.csv

履歴データ : -,WCL-426R,A0001,01,2,3,4,5,KEY1,2018/05/01,12:00:00,2018/05/01,12:01:00,00:01:00

■I/O ユニットデータ

I/O ユニットの I/O ポートの状態が変化するとき、その時点の各 I/O ポートの状態を記録したデータです。

基本設定で I/O ユニットのログ出力が「有効」になっている場合、出力されます。

出力先フォルダ : C:¥HERUTU¥WCL plus¥log

ファイル名 : io_unit_yyyyMMdd.csv (y:西暦, M:月, d:日)

文字エンコーディング : UTF-8(Byte order mark あり)

CSV ファイルは日付単位で出力されます。WCL plus が稼働中に日付が変わった場合、自動的に新たなファイルを作成し出力を行います。

CSV ファイルに出力される情報

項目を示すヘッダ行は存在しません。(履歴データが 1 行目から始まります。)

データは以下の順で並んでいます。

| 項目 | 内容 | 例: |
|--------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| 状態変化日 | I/O ポートの状態変化日 | 2020/09/01 |
| 状態変化時刻 | I/O ポートの状態変化時刻 | 12:00:00 |
| IP アドレス | I/O ユニットの IP アドレス | 192.168.0.10 |
| ポート番号 | I/O ユニットのポート番号 | 50001 |
| I/O ユニット名 | I/O ユニット名 | エンジン組立ライン A |
| 各 I/O ポートの状態 | 各 I/O ポートの状態を 0(OFF)、1(ON)のビット列で表したもの | 00000000000000010000000000000000 |

例: 2020/09/01 12:00:00に初期化直後の I/O ユニット(IPアドレス: 192.168.0.10, ポート番号: 50001, I/O ユニット名: エンジン組み立てライン A)の I/O ポートの 3(入力)が OFF から ON になった場合

ファイル名 : io_unit_20180501.csv

履歴データ : "2020/09/01","12:00:00","192.168.0.10","50001","エンジン組立ライン A","00000000000000000000000000000000100"

3-33. 設定ファイルのバックアップ

WCL plus は全ての設定をファイルで管理しています。設定ファイルをバックアップすることで、設定の移行やファイルの破損時に復旧が容易になりますので、定期的なバックアップをお勧めします。

設定ファイルは、C:\%HERUTU%\WCL plus¥の中の*.csv、*.json、*.dat が対象です。

3-34. トラブルシューティング

Web ブラウザの表示がおかしい、動作が遅い、画面が止まった等の問題が発生した場合は Web ブラウザの「再読み込み」、または、「再起動」を行って動作が改善されるかご確認ください。

Web ブラウザの「再読み込み」、「再起動」を行っても動作が改善されない場合、「サービス管理ツール」から WCL plus の再起動を行って動作が改善されるかご確認ください(再起動すると呼び出し状況はクリアされます)それでも動作が改善されない場合、イベントログを確認してください。

イベントログには、WCL plus の内部的な動作の履歴が記録されますので、動作不良の原因特定に役立ちます。

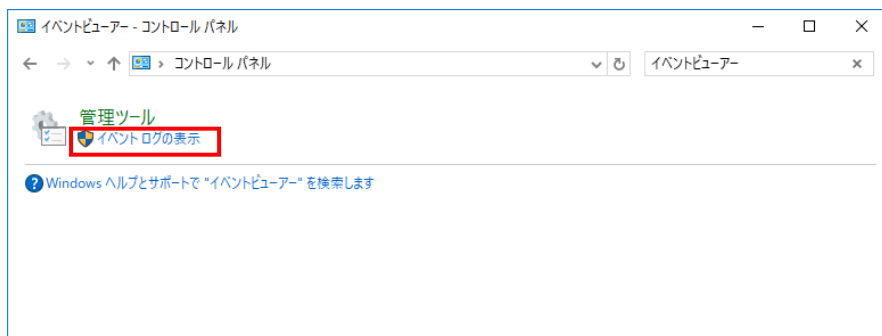
Windows イベントビューアー

「イベントビューアー」ウィンドウは「コントロールパネル」から開きます。

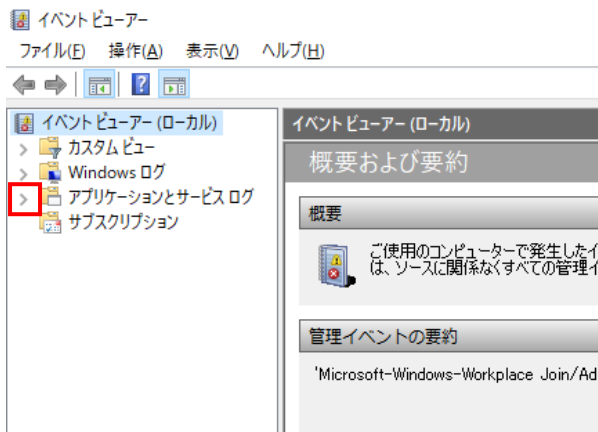
「コントロールパネル」で「コントロールパネルの検索」窓で「イベントビューアー」を検索します。



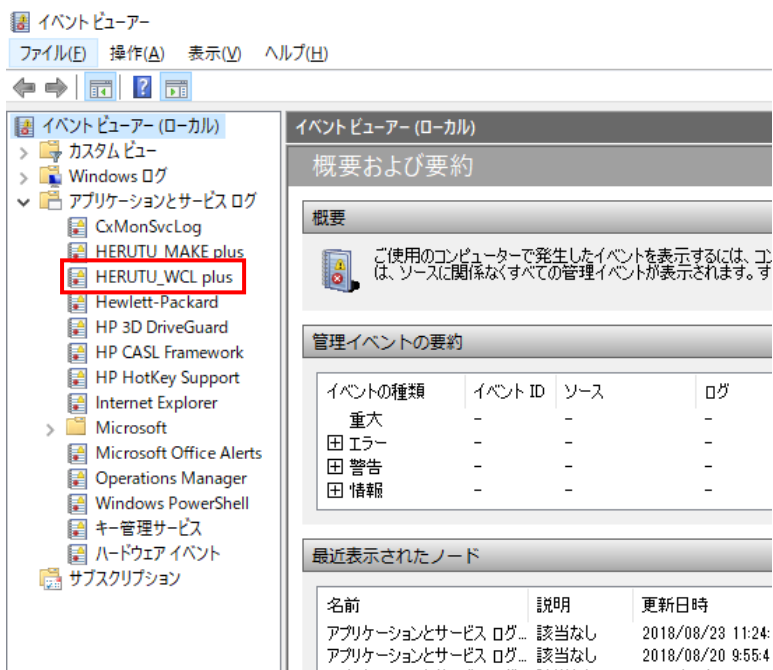
「イベントログの表示」をクリックします。



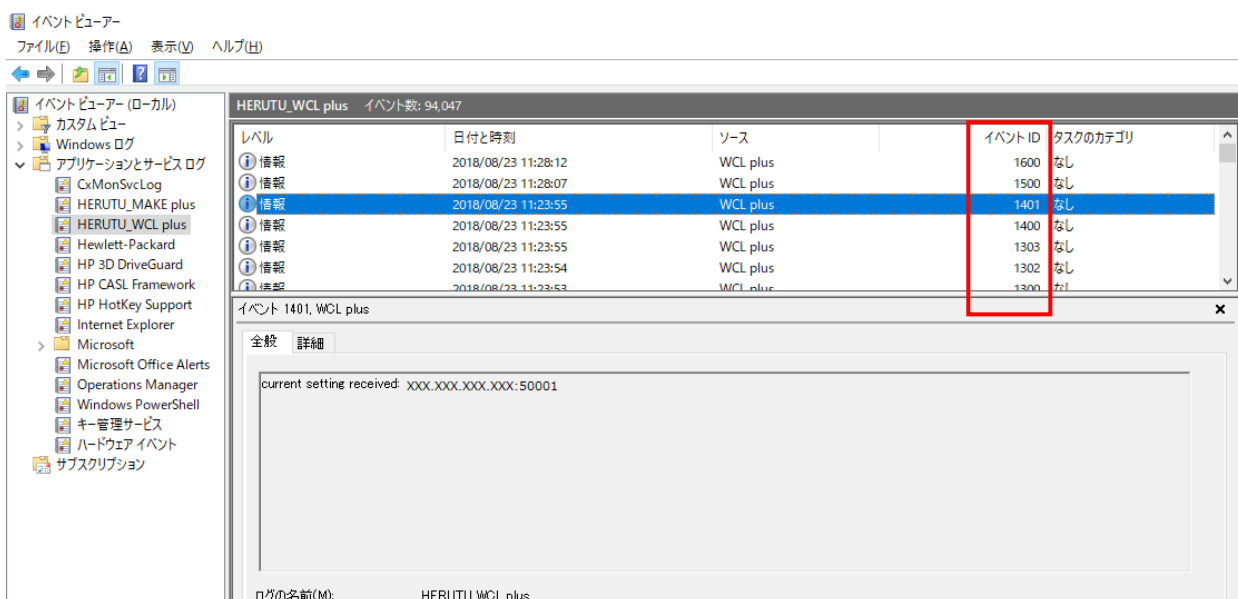
「イベントビューアー」が表示されます。「アプリケーションとサービスログ」の左の「>」をクリックします。



「HERUTU_WCL_plus」をクリックします。



イベントログが表示されます。イベント ID に対する詳細情報は、「イベント ID 一覧」でご確認ください。



イベントID一覧

| イベントID | イベント内容 | レベル | 対処方法 |
|--------|---------------------------------|-----|---|
| 1000 | アプリケーション起動 | 情報 | - |
| 1001 | アプリケーション終了 | 情報 | - |
| 1002 | 評価モードを有効化 | 情報 | - |
| 1003 | 評価期限切れ | 情報 | - |
| 1100 | 受信機設定ファイルの読み込みを開始 | 情報 | - |
| 1101 | 受信機設定ファイルの読み込みを完了 | 情報 | - |
| 1200 | 送信機設定ファイルの読み込みを開始 | 情報 | - |
| 1201 | 送信機設定ファイルの読み込みを完了 | 情報 | - |
| 1300 | 受信機との接続を開始 | 情報 | - |
| 1301 | 受信機との接続の解除を開始 | 情報 | - |
| 1302 | 受信機との接続を試行 | 情報 | - |
| 1303 | 受信機との接続を確立 | 情報 | - |
| 1304 | 受信機との接続を解除 | 情報 | - |
| 1400 | 受信機の設定を取得開始 | 情報 | - |
| 1401 | 受信機の設定を取得 | 情報 | - |
| 1500 | 生データファイルを作成 | 情報 | - |
| 1600 | 呼び出し履歴ファイルを作成 | 情報 | - |
| 2000 | アプリケーション設定ファイルの読み込みを開始 | 情報 | - |
| 2001 | アプリケーション設定ファイルの読み込みを完了 | 情報 | - |
| 2002 | 設定ファイルのロックを開始 | 情報 | - |
| 2003 | 設定ファイルのロックが完了 | 情報 | - |
| 2004 | 設定ファイルのバージョンアップを開始 | 情報 | - |
| 2005 | 設定ファイルのバージョンアップが完了 | 情報 | - |
| 2006 | 基本設定ファイルの読み込みを開始 | 情報 | - |
| 2007 | 基本設定ファイルの読み込みが完了 | 情報 | - |
| 2008 | I/O ユニット設定ファイルの読み込みを開始 | 情報 | - |
| 2009 | I/O ユニット設定ファイルの読み込みが完了 | 情報 | - |
| 2010 | I/O ユニット動作設定ファイルの読み込みを開始 | 情報 | - |
| 2011 | I/O ユニット動作設定ファイルの読み込みが完了 | 情報 | - |
| 2012 | 呼び出しグループ定義ファイルの読み込みを開始 | 情報 | - |
| 2013 | 呼び出しグループ定義ファイルの読み込みが完了 | 情報 | - |
| 2014 | 双方向シルウォッチ呼び出し定義ファイルの読み込みを開始 | 情報 | - |
| 2015 | 双方向シルウォッチ呼び出し定義ファイルの読み込みが完了 | 情報 | - |
| 2016 | 双方向シルウォッチ呼び出しカスタムファイルの読み込みを開始 | 情報 | - |
| 2017 | 双方向シルウォッチ呼び出しカスタムファイルの読み込みが完了 | 情報 | - |
| 2018 | I/O ユニットとの接続を開始 | 情報 | - |
| 2019 | I/O ユニットとの接続を試行 | 情報 | - |
| 2020 | I/O ユニットとの接続を確立 | 情報 | - |
| 2021 | I/O ユニットとの接続の解除を開始 | 情報 | - |
| 2022 | I/O ユニットとの接続を解除 | 情報 | - |
| 2023 | I/O ユニットの初期化を開始 | 情報 | - |
| 2024 | I/O ユニットの初期化を完了 | 情報 | - |
| 2025 | 双方向シルウォッチ送受信器との接続を開始 | 情報 | - |
| 2026 | 双方向シルウォッチ送受信器との接続を試行 | 情報 | - |
| 2027 | 双方向シルウォッチ送受信器との接続を確立 | 情報 | - |
| 2028 | 双方向シルウォッチ送受信器との接続の解除を開始 | 情報 | - |
| 2029 | 双方向シルウォッチ送受信器との接続を解除 | 情報 | - |
| 2030 | 双方向シルウォッチ送受信器の設定を取得開始 | 情報 | - |
| 2031 | 双方向シルウォッチ送受信器の設定を取得 | 情報 | - |
| 2032 | 受信機設定を更新完了 | 情報 | - |
| 2033 | 受信機設定ファイルを更新完了 | 情報 | - |
| 2034 | 送信機設定を更新完了 | 情報 | - |
| 2035 | 送信機設定ファイルを更新完了 | 情報 | - |
| 2036 | I/O ユニット設定を更新完了 | 情報 | - |
| 2037 | I/O ユニット設定ファイルを更新完了 | 情報 | - |
| 2038 | 基本設定を更新完了 | 情報 | - |
| 2039 | 基本設定ファイルを更新完了 | 情報 | - |
| 2040 | 呼び出しグループ設定を更新完了 | 情報 | - |
| 2041 | 呼び出しグループ設定ファイルを更新完了 | 情報 | - |
| 2042 | I/O ユニット動作設定を更新完了 | 情報 | - |
| 2043 | I/O ユニット動作設定ファイルを更新完了 | 情報 | - |
| 2044 | I/O ユニット動作履歴ファイルを作成 | 情報 | - |
| 9000 | | | |
| 9001 | サービスの初期化エラー | エラー | 設定ファイルをバックアップし、一度 WCL plus をアンインストール後、再度インストールしてください。 |
| 9002 | | | |
| 9003 | | | |
| 9004 | | | |
| 9004 | 設定ファイルのバージョンアップに失敗 | エラー | 設定ファイルが壊れています。設定ファイルを削除するか、バックアップした設定ファイルにさしかえて再度 WCL plus を起動してください。 |
| 9005 | 基本設定ファイルが読み込めない | エラー | 設定ファイルが壊れています。設定ファイルを削除するか、バックアップした設定ファイルにさしかえて再度 WCL plus を起動してください。 |
| 9006 | 基本設定ファイルのフォーマットが正しくない | | |
| 9007 | LAN-I/O ユニット設定ファイルが読み込めない | | |
| 9008 | LAN-I/O ユニット設定ファイルのフォーマットが正しくない | | |

| | | | |
|------|-----------------------------------|-----|---|
| 9009 | LAN-I/O ユニット動作設定ファイルが読み込めない | | |
| 9010 | LAN-I/O ユニット動作設定ファイルのフォーマットが正しくない | | |
| 9011 | 呼び出しグループ定義ファイルが読み込めない | エラー | 組み込み設定ファイルが壊れています。設定ファイルをバックアップし、一度 WCL plus をアンインストール後、再度インストールしてください。 |
| 9012 | 呼び出しグループ定義ファイルのフォーマットが正しくない | | |
| 9013 | 呼び出しグループ定義ファイルが読み込めない | エラー | 設定ファイルが壊れています。設定ファイルを削除するか、バックアップした設定ファイルにさしかえて再度 WCL plus を起動してください。 |
| 9014 | 呼び出しグループ定義ファイルのフォーマットが正しくない | | |
| 9015 | 双方向シルウオッチ呼び出し定義ファイルが読み込めない | エラー | 組み込み設定ファイルが壊れています。設定ファイルをバックアップし、一度 WCL plus をアンインストール後、再度インストールしてください。 |
| 9016 | 双方向シルウオッチ呼び出し定義ファイルのフォーマットが正しくない | | |
| 9017 | 双方向シルウオッチ呼び出し定義ファイルのフォーマットが正しくない | エラー | ヘルツ電子 営業部までお問い合わせください。 |
| 9018 | 接続対象の I/O ユニットに接続できない | 警告 | ・登録した IP アドレス、ポート番号が正しいことを確認してください。 ・I/O ユニットの電源が入っていることを確認してください。 |
| 9019 | 接続対象の I/O ユニットとの接続が意図せず解除された | 警告 | ・I/O ユニットにケーブルが接続されていることを確認してください。 ・I/O ユニットとの間のネットワークが正常に機能していることを確認してください。 |
| 9020 | LAN-I/O ユニットの初期化ができなかった | 警告 | ・I/O ユニットのネットワーク設定が正しくされていることを確認してください。 |
| 9021 | 接続対象の双方向シルウオッチ送受信器に接続できない | 警告 | ・双方向シルウオッチ送受信器が接続されていることを確認してください。 |
| 9022 | 双方向シルウオッチ送受信器との接続が意図せず解除された | 警告 | |
| 9023 | 双方向シルウオッチ送受信器の設定を取得できなかった | 警告 | ・双方向シルウオッチ送受信器のドライバがインストールされ、PC から認識されていることを確認してください。 ・双方向シルウオッチ送受信器の電源が入っていることを確認してください。 ・双方向シルウオッチ送受信器が接続され、認識されている COM ポートが設定されていることを確認してください。 |
| 9024 | 双方向シルウオッチ呼び出しに失敗した可能性がある | 警告 | 双方向シルウオッチ送受信器を再起動してください。 |
| 9025 | 双方向シルウオッチ呼び出し要求が破棄された | 警告 | 基本設定から双方向シルウオッチ送受信器を有効にしてください。 |
| 9026 | 双方向シルウオッチ呼び出し要求がリトライ上限に達した | 警告 | 双方向シルウオッチ送受信器を再起動してください。 |
| 9027 | 履歴(I/O ユニットデータ)が出力できない | エラー | ・PC のディスク容量に空きがあることを確認してください。 ・出力先のフォルダ(C:\HERUTU\WCL plus\log)が存在するか確認してください |
| 9028 | システムディレクトリの作成に失敗した | エラー | ・PC のディスク容量に空きがあることを確認してください。 ・C:\HERUTU\WCL plus\にユーザ権限での書き込み権があることを確認してください |
| 9029 | 受信機設定ファイルの更新に失敗した | 警告 | |
| 9030 | 送信機設定ファイルの更新に失敗した | 警告 | |
| 9031 | I/O ユニット設定ファイルの更新に失敗した | 警告 | ・PC のディスク容量に空きがあることを確認してください。 |
| 9032 | 基本設定ファイルの更新に失敗した | 警告 | ・WCL plus を再起動してもう一度設定を行ってください。 |
| 9033 | 呼び出しグループ設定ファイルの更新に失敗した | 警告 | |
| 9034 | I/O ユニット動作設定ファイルの更新に失敗した | 警告 | |
| 9100 | 受信機設定ファイルが読み込めない | エラー | |
| 9101 | 受信機設定ファイルのフォーマットが異常 | エラー | 設定ファイルが壊れています。設定ファイルを削除するか、バックアップした設定ファイルにさしかえて再度 WCL plus を起動してください。 |
| 9200 | 送信機設定ファイルが読み込めない | エラー | |
| 9201 | 送信機設定ファイルのフォーマットが異常 | エラー | |
| 9300 | 有効なネットワークが見つからない | エラー | ネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 |
| 9302 | 接続対象の受信機に接続できない | 警告 | ・受信機の電源が入っていることを確認してください。 ・ネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 ・受信機との間のネットワークが正常に機能していることを確認してください。 ・受信機のネットワーク設定が正しくされていることを確認してください。 |
| 9303 | 接続対象の受信機との接続が意図せず解除された | 警告 | ・受信機の電源が入っていることを確認してください。 ・受信機との間のネットワークが正常に機能していることを確認してください。 |
| 9400 | 受信機から設定を取得できなかった | 警告 | ・受信機の LED がエラー表示していないか確認してください。 |
| 9401 | 受信機からメモリ異常関連のエラーを受信した | 警告 | |
| 9402 | 受信機から無線モジュール異常のエラーを受信した | 警告 | ヘルツ電子 営業部までお問い合わせください。 |
| 9403 | 受信機から通信コマンドエラーを受信した | 警告 | |
| 9500 | 履歴(生データ)を出力できない | エラー | ・PC のディスク容量に空きがあることを確認してください。 |
| 9600 | 履歴(加工データ)を出力できない | エラー | ・出力先のフォルダ(C:\HERUTU\WCL plus\log)が存在するか確認してください |



ヘルツ電子株式会社
HERUTU ELECTRONICS CORPORATION

〒433-8104 静岡県浜松市北区東三方町 422-1

(営業部) TEL. 053-438-3555 FAX. 053-438-3411

ホームページ <https://www.herutu.co.jp> E-mail info@herutu.co.jp